



訂正前

福島第一-6号機 設備状況確認結果							
複合建屋(原子炉棟含む)				タービン建屋			
6階					2階		
5階							
4階							
	原子炉棟4階	原子炉棟5階	原子炉棟6階				
3階					1階		
2階							
	原子炉棟2階	原子炉棟3階	原子炉棟4階	原子炉棟5階			
地下							
	原子炉棟地下1階	原子炉棟地下2階					
格納容器内					地下		

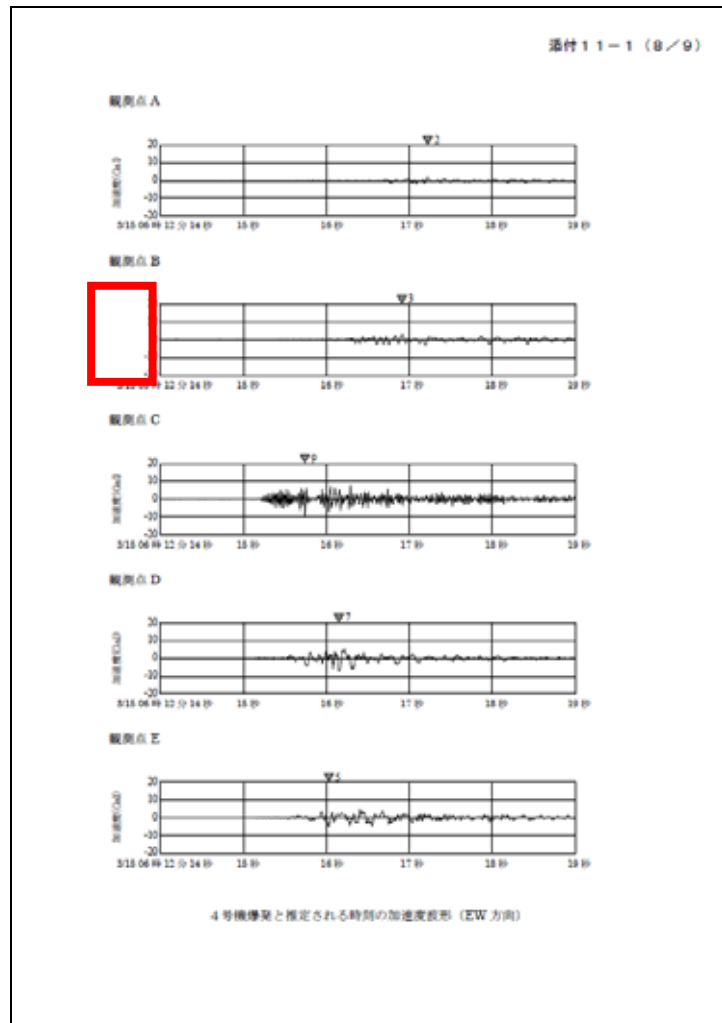
訂正後

福島第一-6号機 設備状況確認結果							
複合建屋(原子炉棟含む)				タービン建屋			
6階					2階		
5階							
4階							
	原子炉棟4階	原子炉棟5階	原子炉棟6階	原子炉棟7階			
3階					1階		
2階							
	原子炉棟2階	原子炉棟3階	原子炉棟4階	原子炉棟5階			
地下							
	原子炉棟地下1階	原子炉棟地下2階					
格納容器内					地下		

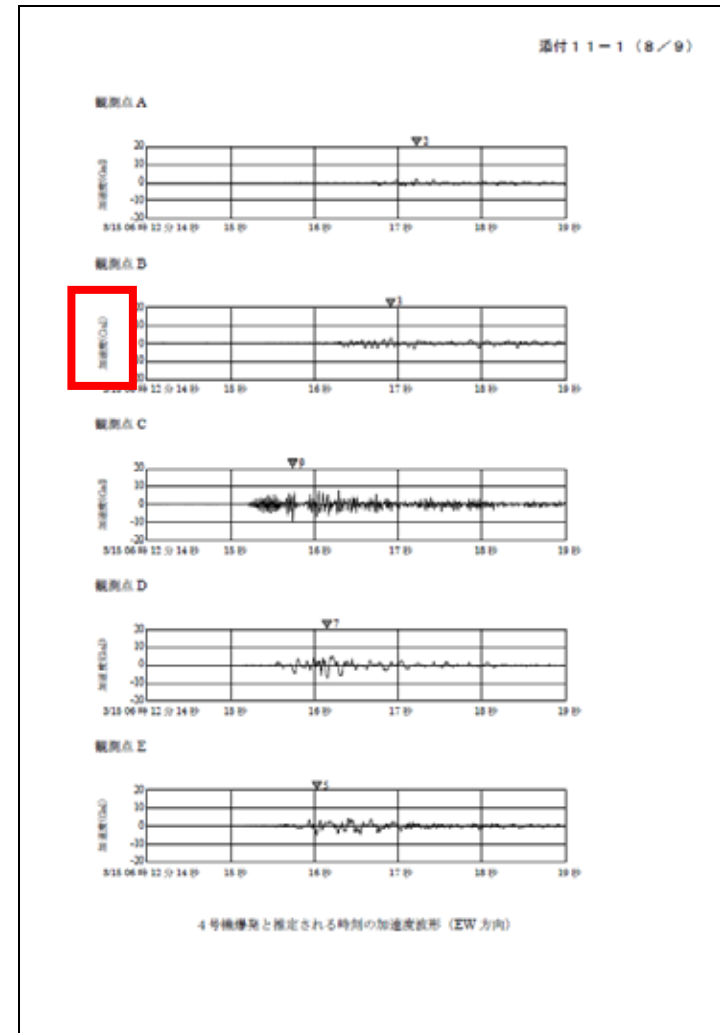
【訂正内容】

非常用ガス処理系の写真が間違っていたため、正しい写真に訂正

訂正前



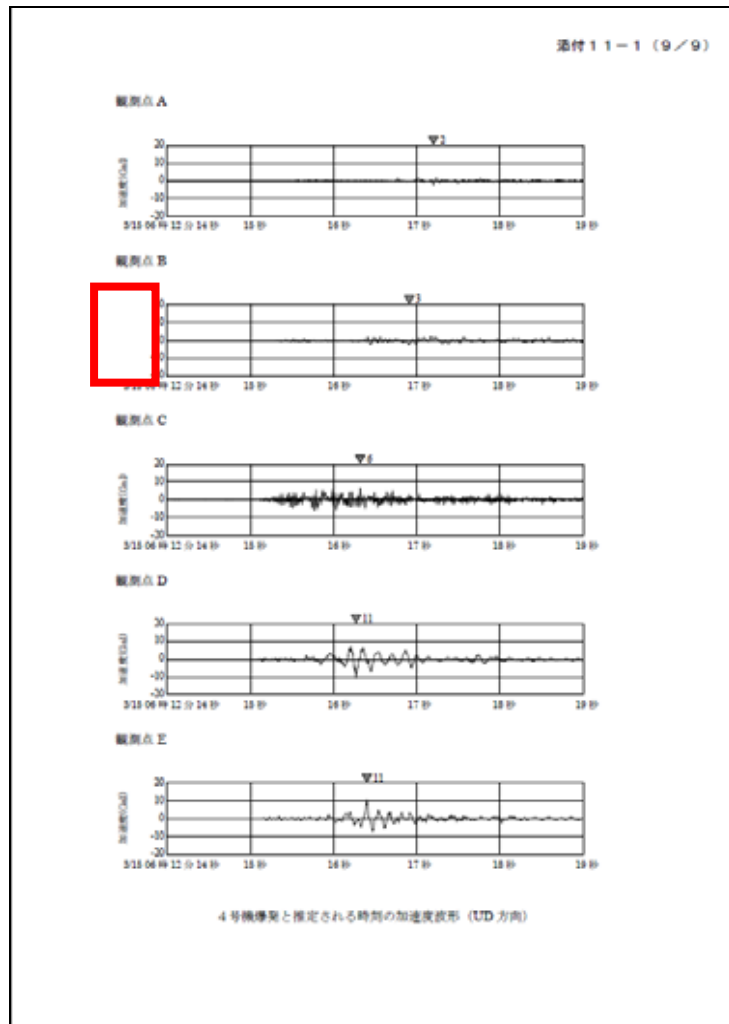
訂正後



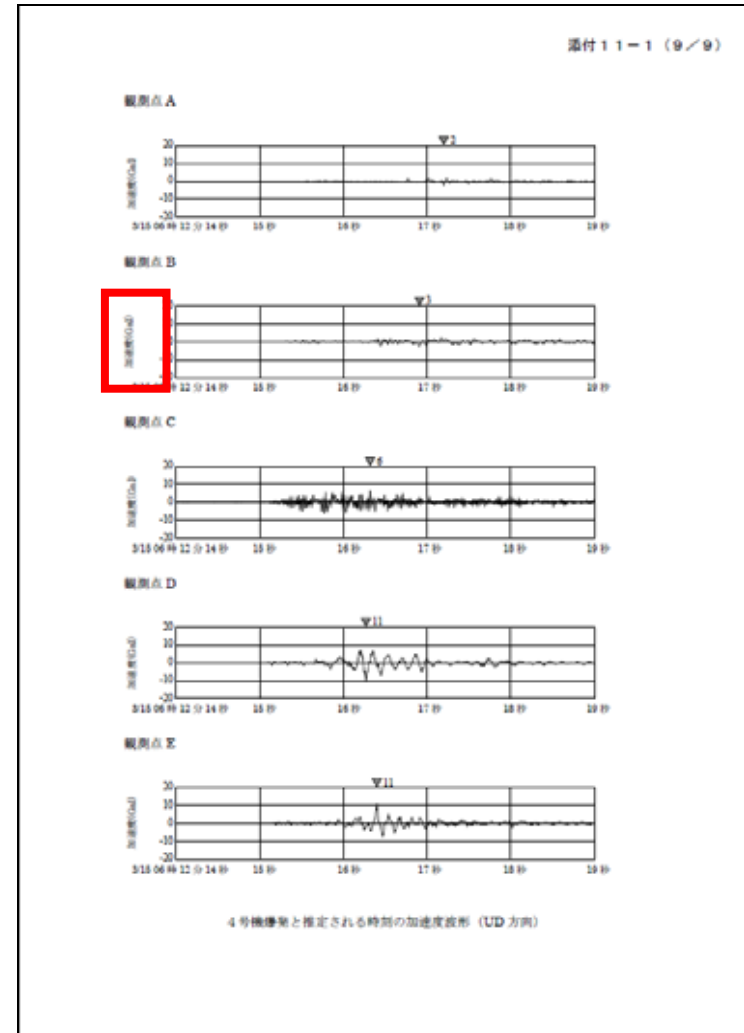
【訂正内容】

観測点 B の縦軸の「加速度 (Ga1)」の記載が欠落していたので訂正

訂正前



訂正後



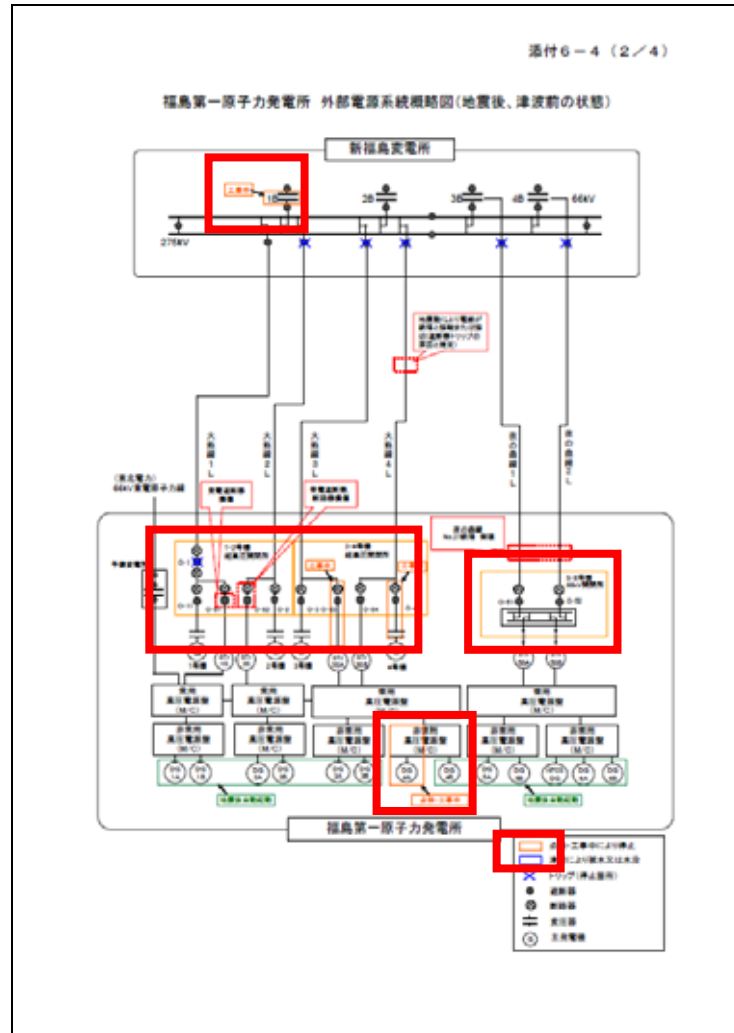
【訂正内容】

観測点 B の縦軸の「加速度 (Ga1)」の記載が欠落していたので訂正

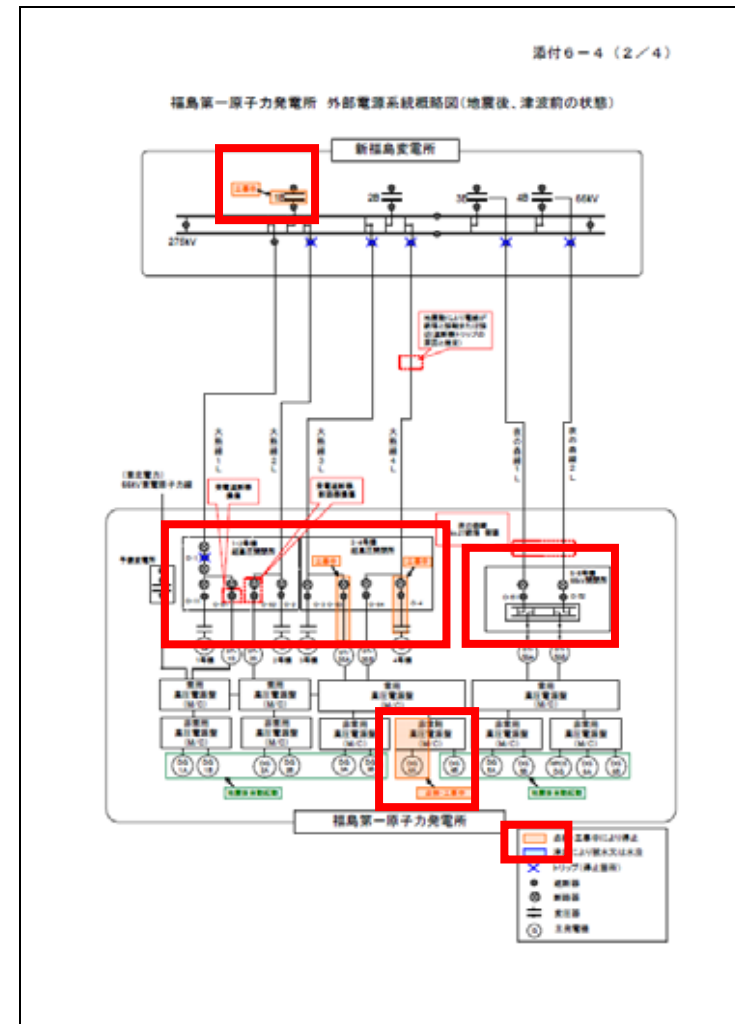
※本ページ以降は、弊社ホームページ上のPDFデータについて、一部変換エラーがあったことから、PDFデータの訂正したものです。

訂正箇所：添付6-4 (2/4)

訂正前



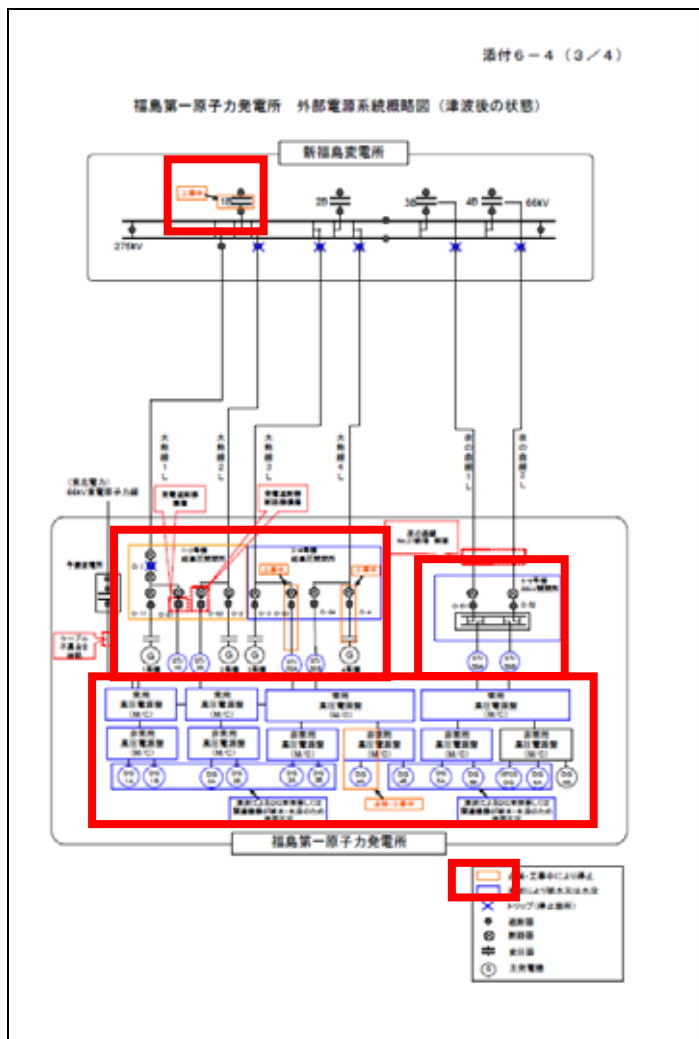
訂正後



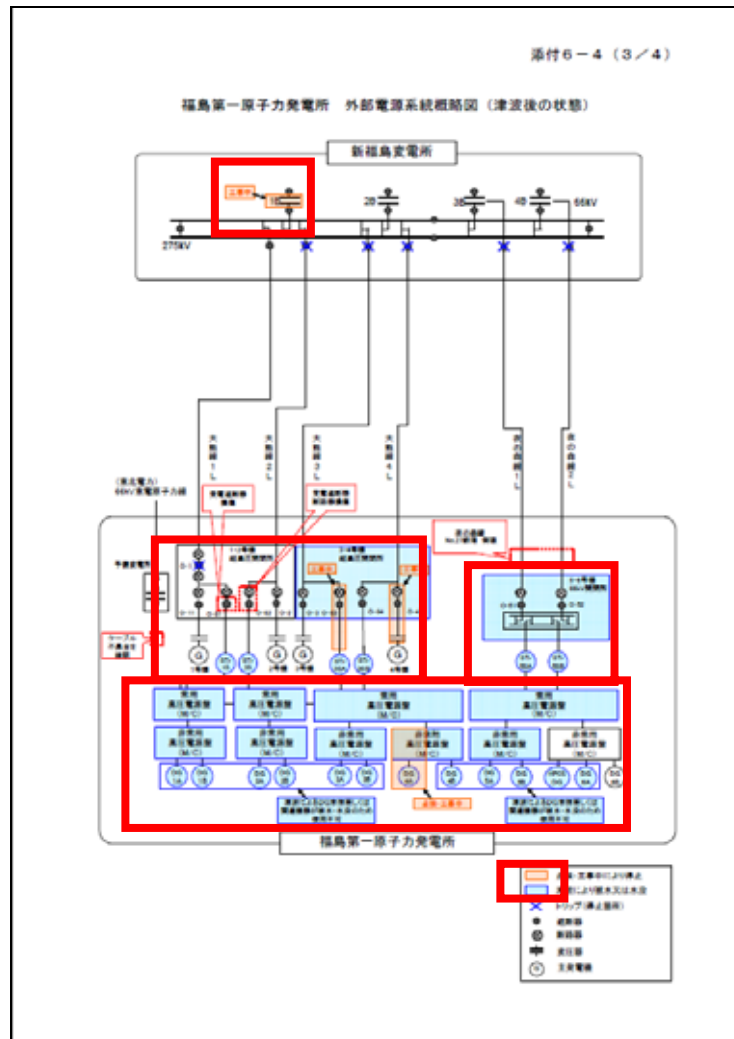
【訂正内容】

点検・工事中により停止した箇所を示すオレンジ色の塗りつぶし箇所が消えていたため訂正、前述のオレンジ色の枠との識別を明確化するため設備範囲（開閉所）を示す薄いオレンジ色の枠の色を黒に変更

訂正前



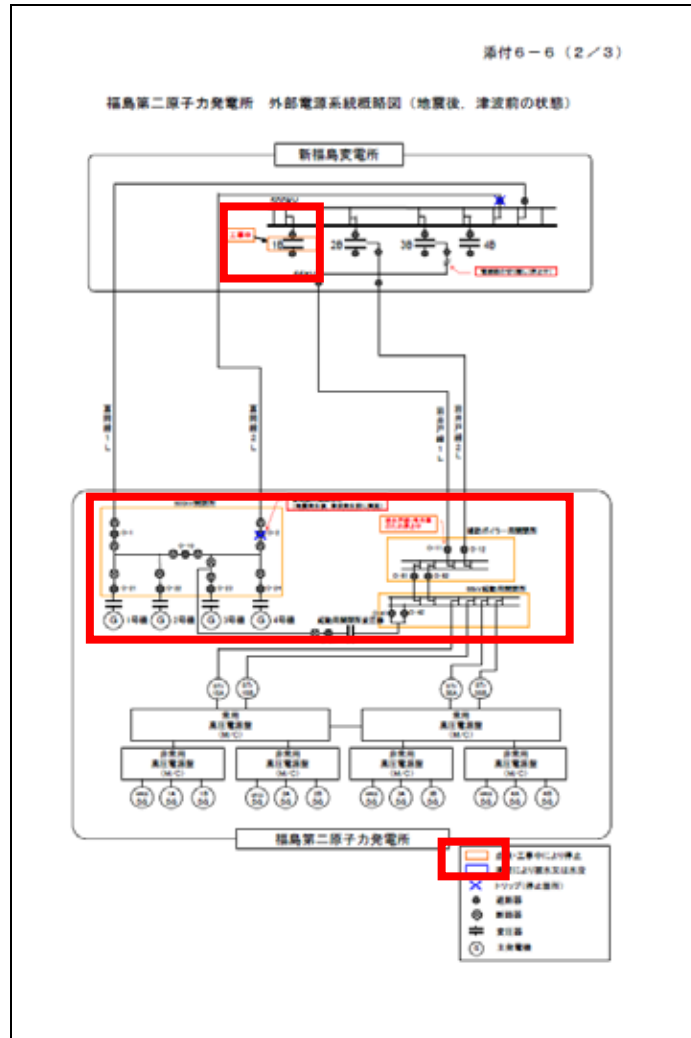
訂正後



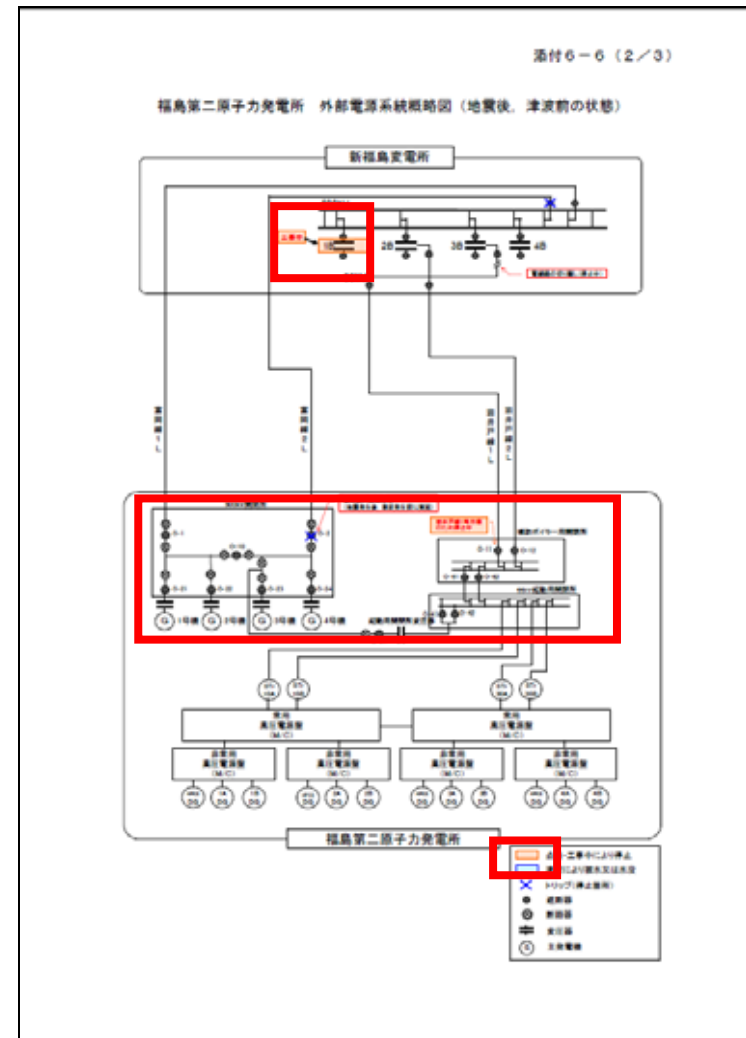
【訂正内容】

点検・工事中により停止した箇所を示すオレンジ色の塗りつぶし箇所並びに津波により被水又は水没した箇所を示す水色の塗り潰し箇所が消えていたため訂正、前述のオレンジ色の枠との識別を明確化するため設備範囲（開閉所）を示す薄いオレンジ色の枠の色を黒に変更

訂正前



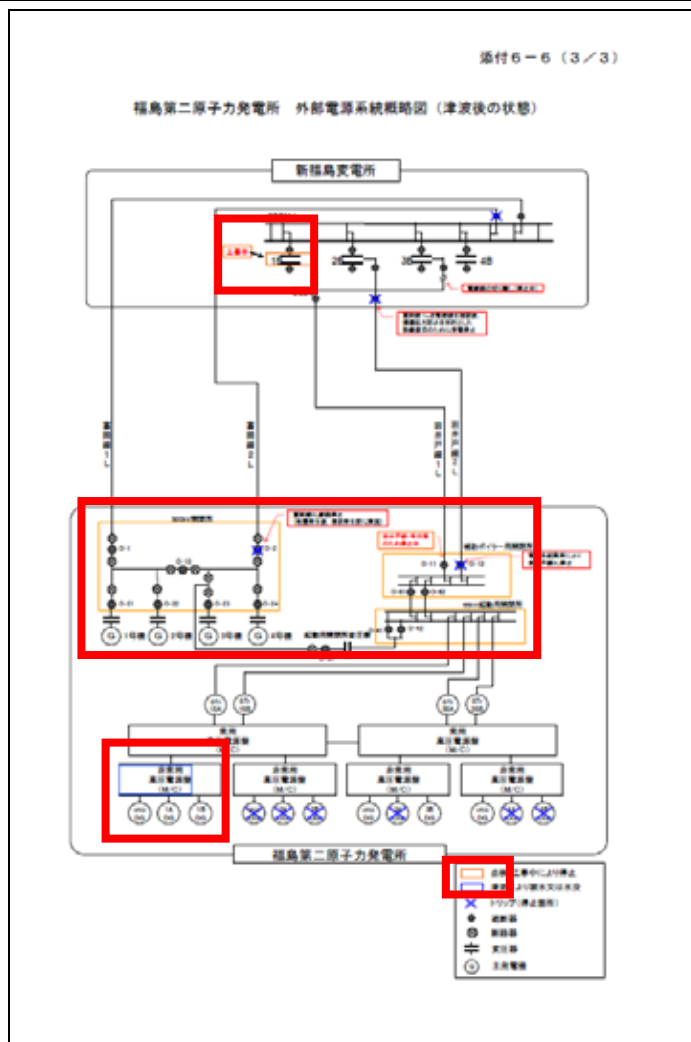
訂正後



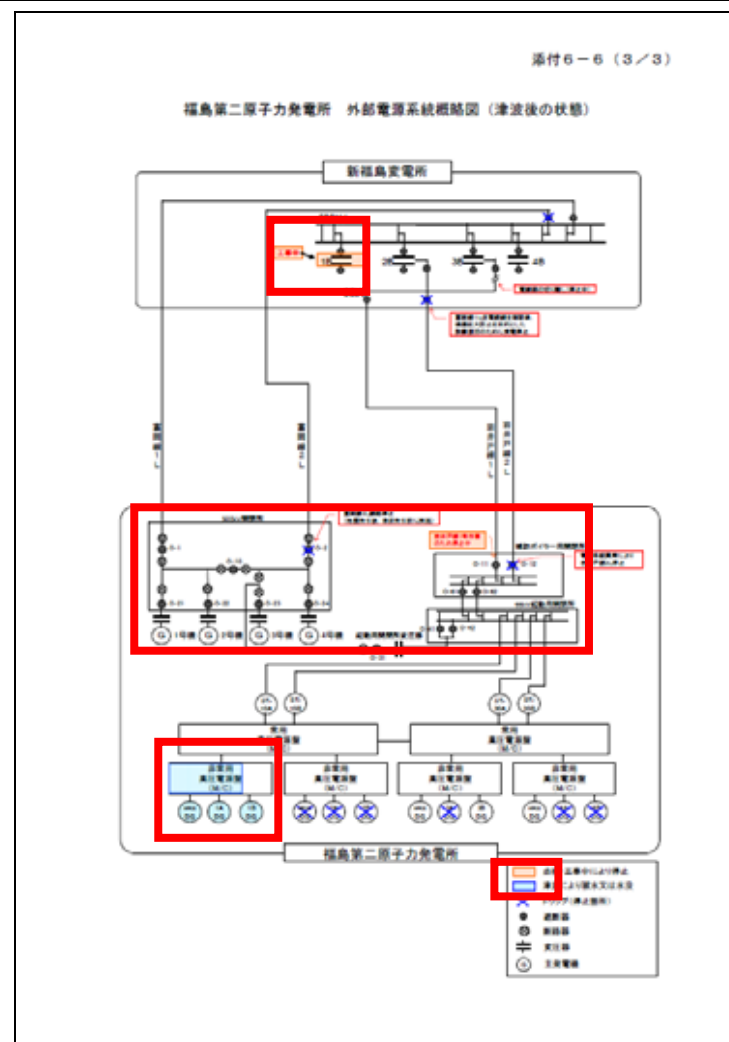
【訂正内容】

点検・工事中により停止した箇所を示すオレンジ色の塗りつぶし箇所が消えていたため訂正、前述のオレンジ色の枠との識別を明確化するため設備範囲（開閉所）を示す薄いオレンジ色の枠の色を黒に変更

訂正前



訂正後



【訂正内容】

点検・工事中により停止した箇所を示すオレンジ色の塗りつぶし箇所並びに津波により被水又は水没した箇所を示す水色の塗り潰し箇所が消えていたため訂正、前述のオレンジ色の枠との識別を明確化するため設備範囲（開閉所）を示す薄いオレンジ色の枠の色を黒に変更



訂正前

添付7-7(1/2)

**福島第二原子力発電所 所内電源設備の被害状況(津波後)**

※表は、発生後直後の被害(10月16日現在)と、その後復旧状況(10月20日現在)について記載しております。その結果に基づいて被害状況を記載しております。

設備名	1-2号機		3-4号機		被害状況
	設備名	被害状況	設備名	被害状況	
1号機	1001A 1号機	正常	1001B 1号機	正常	正常
2号機	2001A 2号機	正常	2001B 2号機	正常	正常
	2002A 2号機	正常	2002B 2号機	正常	正常
	2003A 2号機	正常	2003B 2号機	正常	正常
	2004A 2号機	正常	2004B 2号機	正常	正常
	2005A 2号機	正常	2005B 2号機	正常	正常
	2006A 2号機	正常	2006B 2号機	正常	正常
	2007A 2号機	正常	2007B 2号機	正常	正常
	2008A 2号機	正常	2008B 2号機	正常	正常
	2009A 2号機	正常	2009B 2号機	正常	正常
	2010A 2号機	正常	2010B 2号機	正常	正常
3号機	3001A 3号機	正常	3001B 3号機	正常	正常
	3002A 3号機	正常	3002B 3号機	正常	正常
	3003A 3号機	正常	3003B 3号機	正常	正常
	3004A 3号機	正常	3004B 3号機	正常	正常
	3005A 3号機	正常	3005B 3号機	正常	正常
	3006A 3号機	正常	3006B 3号機	正常	正常
	3007A 3号機	正常	3007B 3号機	正常	正常
	3008A 3号機	正常	3008B 3号機	正常	正常
	3009A 3号機	正常	3009B 3号機	正常	正常
	3010A 3号機	正常	3010B 3号機	正常	正常

※10月20日現在、2号機DG3Aの状況は「正常」から「被害」に変更されています。

【訂正内容】

3号機 DG3A の状況の改行を修正

訂正後

添付7-7(1/2)

**福島第二原子力発電所 所内電源設備の被害状況(津波後)**

※表は、発生後直後の被害(10月16日現在)と、その後復旧状況(10月20日現在)について記載しております。その結果に基づいて被害状況を記載しております。

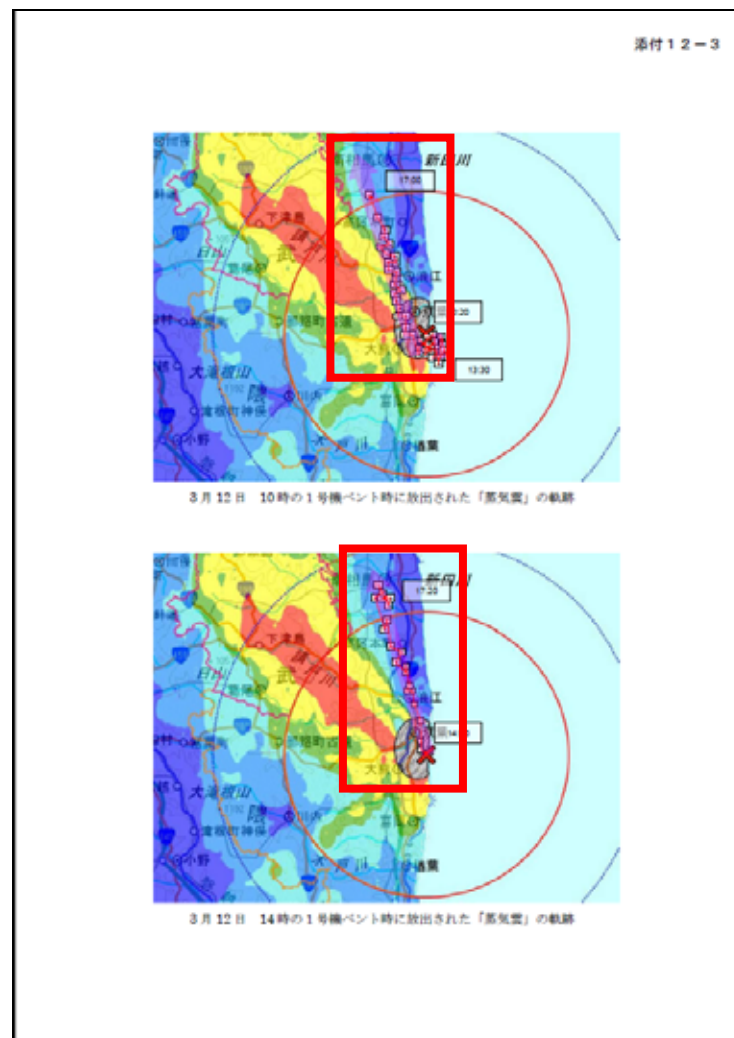
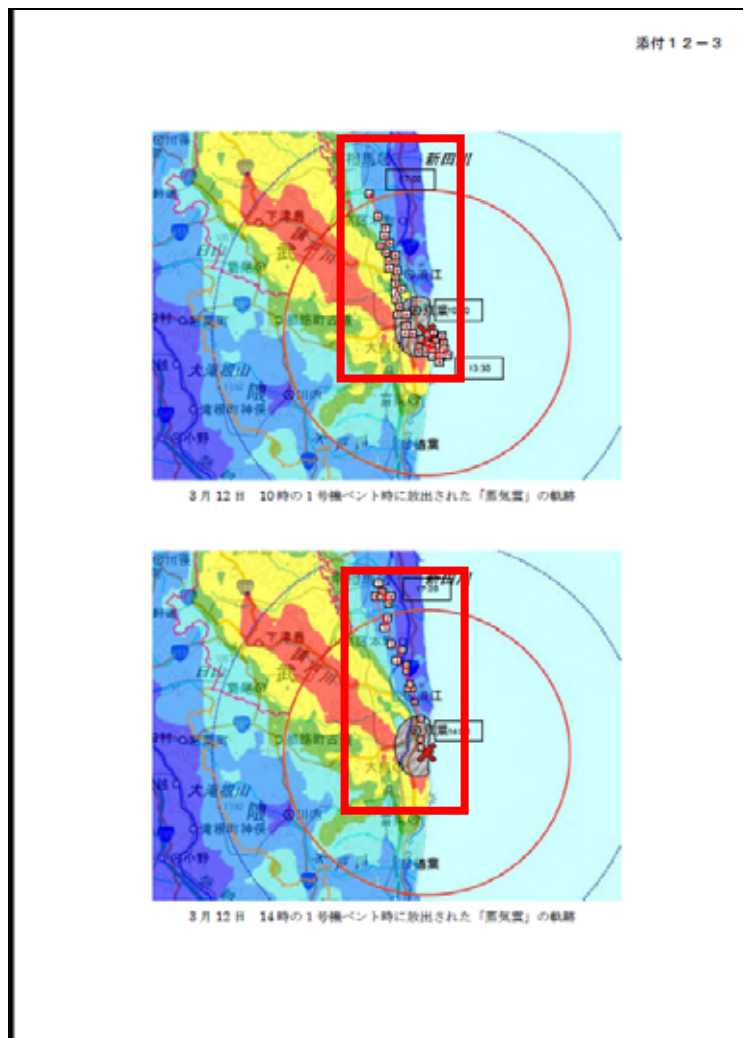
設備名	1-2号機		3-4号機		被害状況
	設備名	被害状況	設備名	被害状況	
1号機	1001A 1号機	正常	1001B 1号機	正常	正常
2号機	2001A 2号機	正常	2001B 2号機	正常	正常
	2002A 2号機	正常	2002B 2号機	正常	正常
	2003A 2号機	正常	2003B 2号機	正常	正常
	2004A 2号機	正常	2004B 2号機	正常	正常
	2005A 2号機	正常	2005B 2号機	正常	正常
	2006A 2号機	正常	2006B 2号機	正常	正常
	2007A 2号機	正常	2007B 2号機	正常	正常
	2008A 2号機	正常	2008B 2号機	正常	正常
	2009A 2号機	正常	2009B 2号機	正常	正常
	2010A 2号機	正常	2010B 2号機	正常	正常
3号機	3001A 3号機	正常	3001B 3号機	正常	正常
	3002A 3号機	正常	3002B 3号機	正常	正常
	3003A 3号機	正常	3003B 3号機	正常	正常
	3004A 3号機	正常	3004B 3号機	正常	正常
	3005A 3号機	正常	3005B 3号機	正常	正常
	3006A 3号機	正常	3006B 3号機	正常	正常
	3007A 3号機	正常	3007B 3号機	正常	正常
	3008A 3号機	正常	3008B 3号機	正常	正常
	3009A 3号機	正常	3009B 3号機	正常	正常
	3010A 3号機	正常	3010B 3号機	正常	正常

※10月20日現在、2号機DG3Aの状況は「正常」から「被害」に変更されています。

訂正箇所：添付12-3

訂正前

訂正後



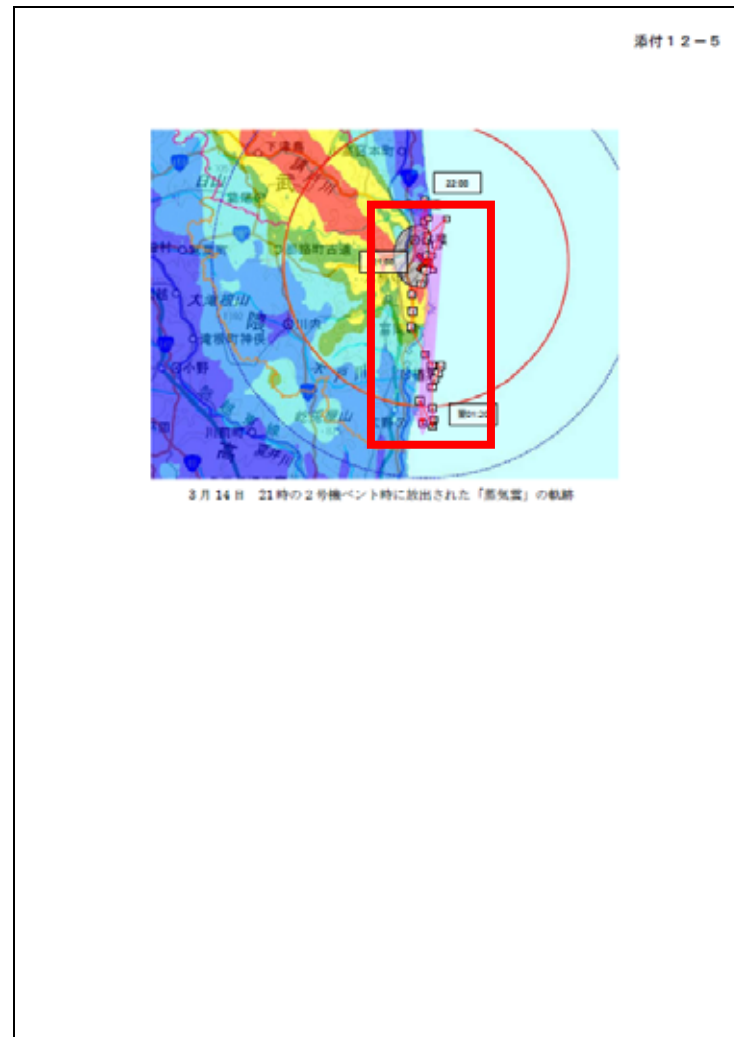
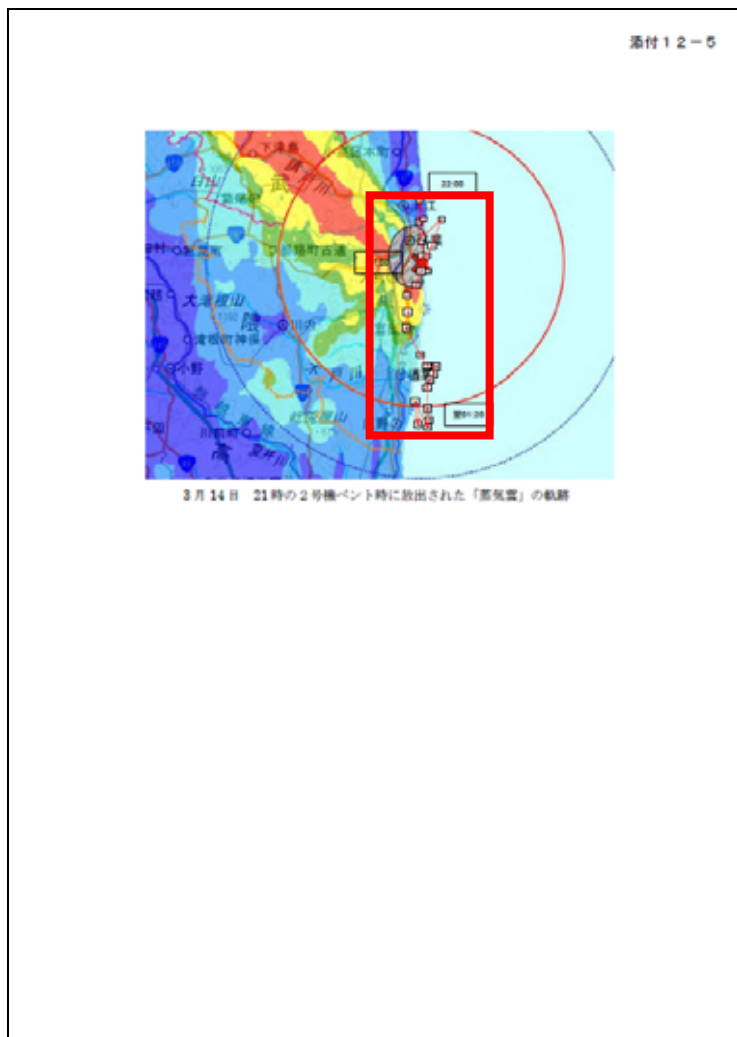
【訂正内容】

蒸気雲移動経路を示す赤い矢印（半透明）が欠落していたため訂正

訂正箇所：添付12-5

訂正前

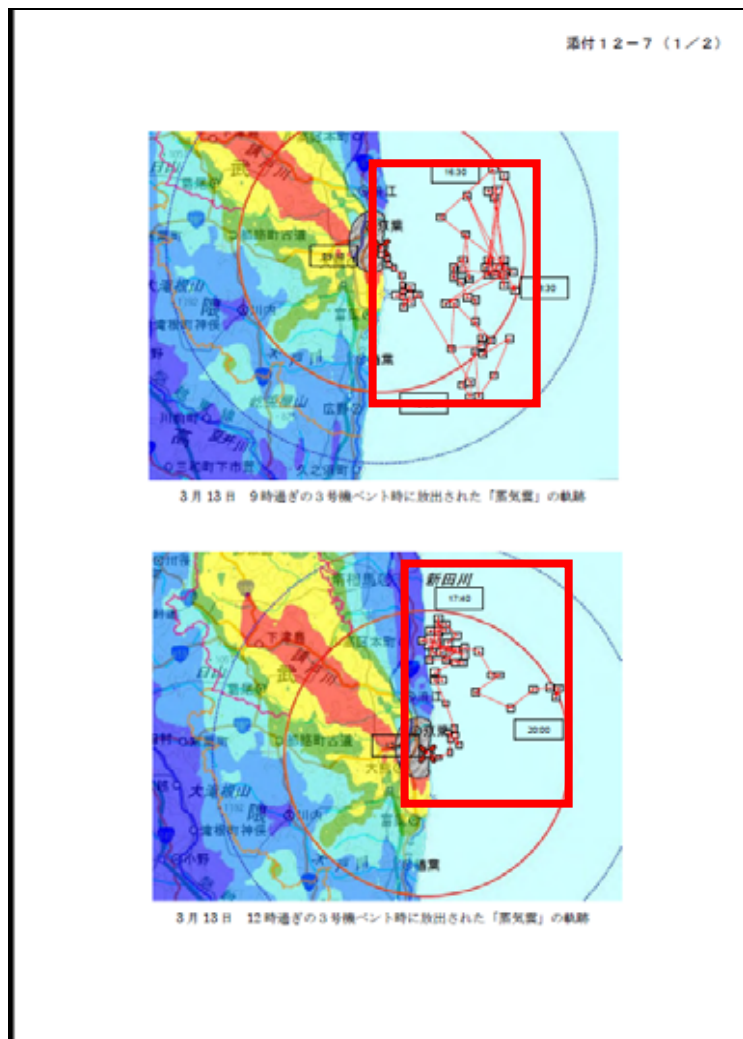
訂正後



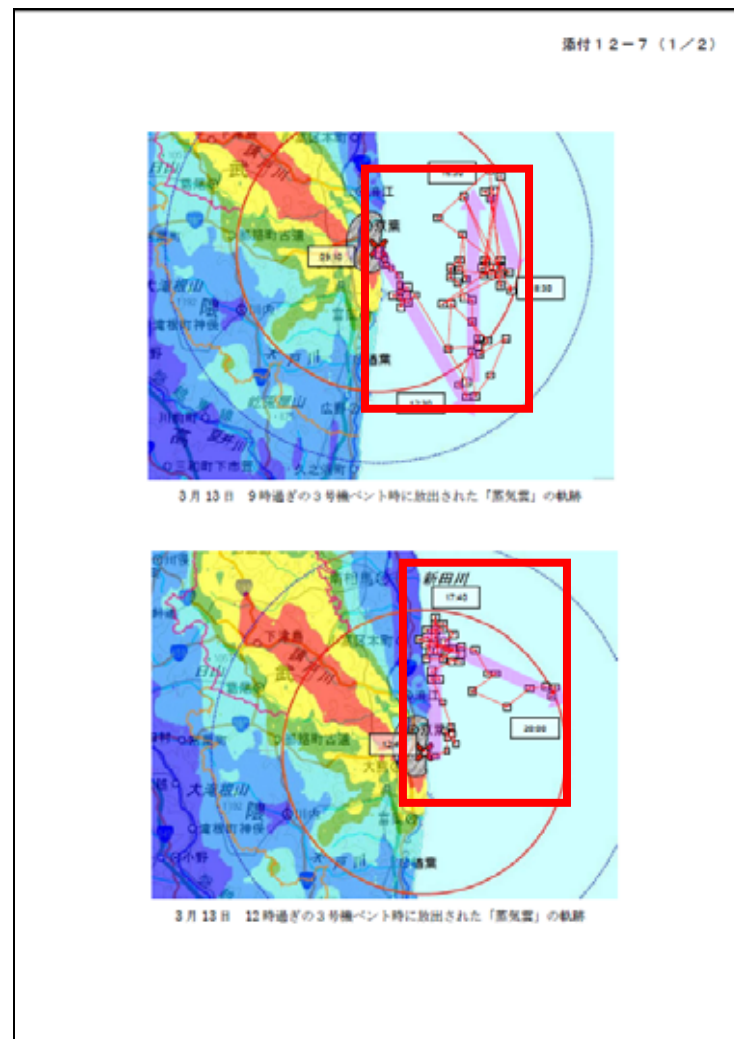
【訂正内容】

蒸気雲移動経路を示す赤い矢印（半透明）が欠落していたため訂正

訂正前



訂正後



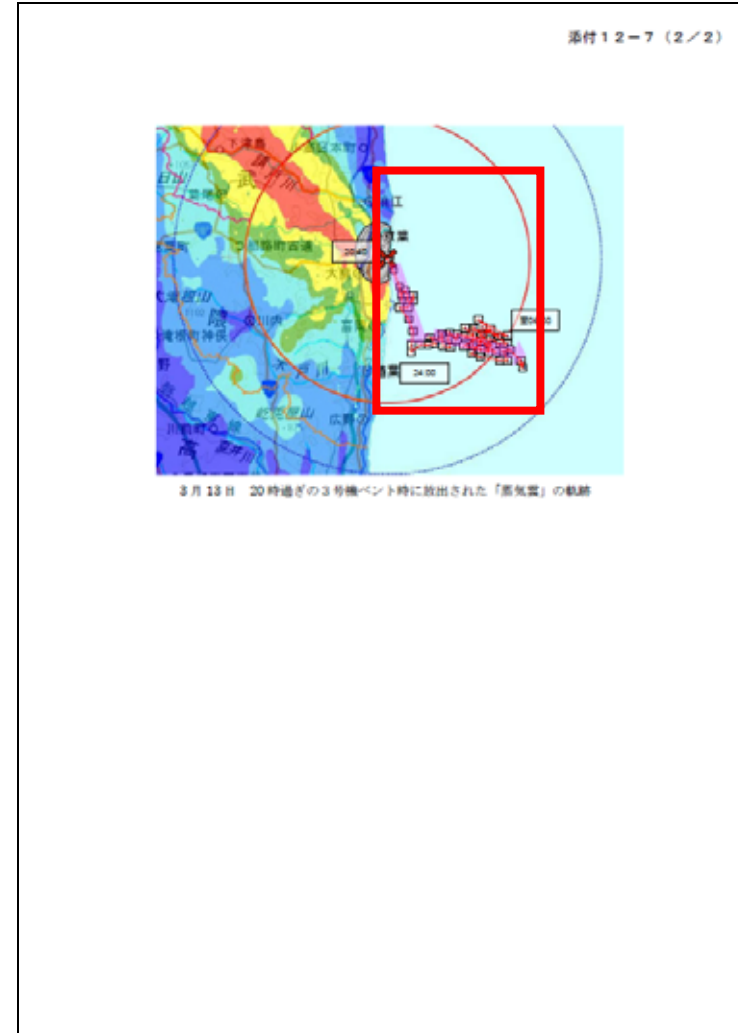
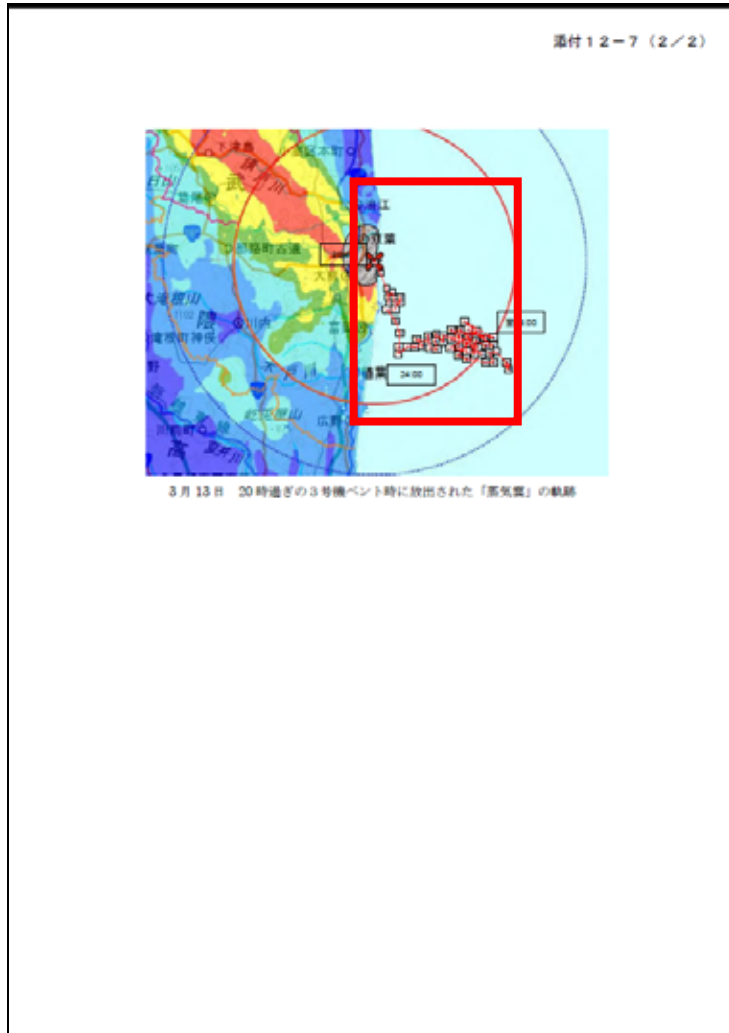
【訂正内容】

蒸気雲移動経路を示す赤い矢印（半透明）が欠落していたため訂正

訂正箇所：添付12-7 (2/2)

訂正前

訂正後

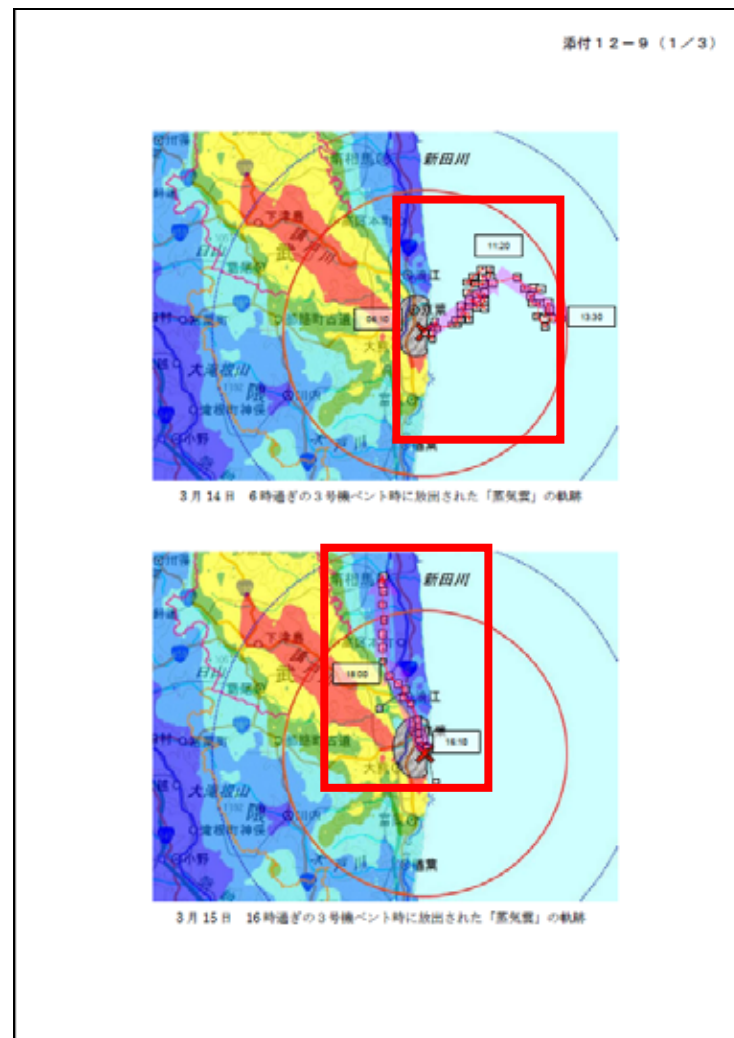
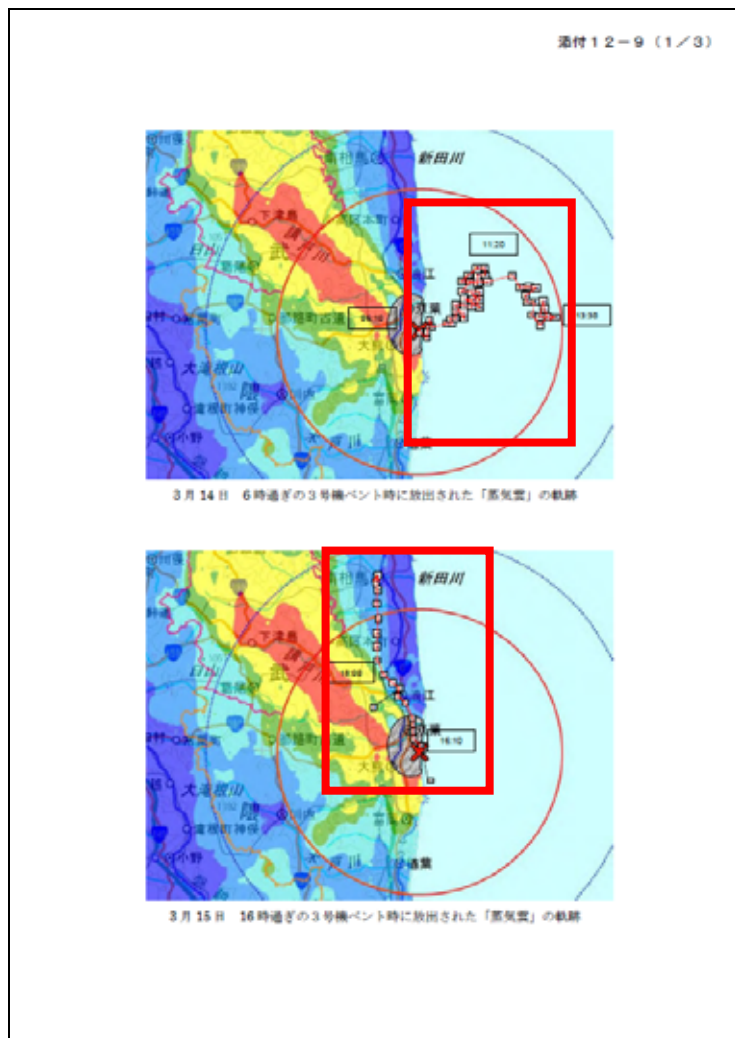


【訂正内容】

蒸気雲移動経路を示す赤い矢印（半透明）が欠落していたため訂正

訂正前

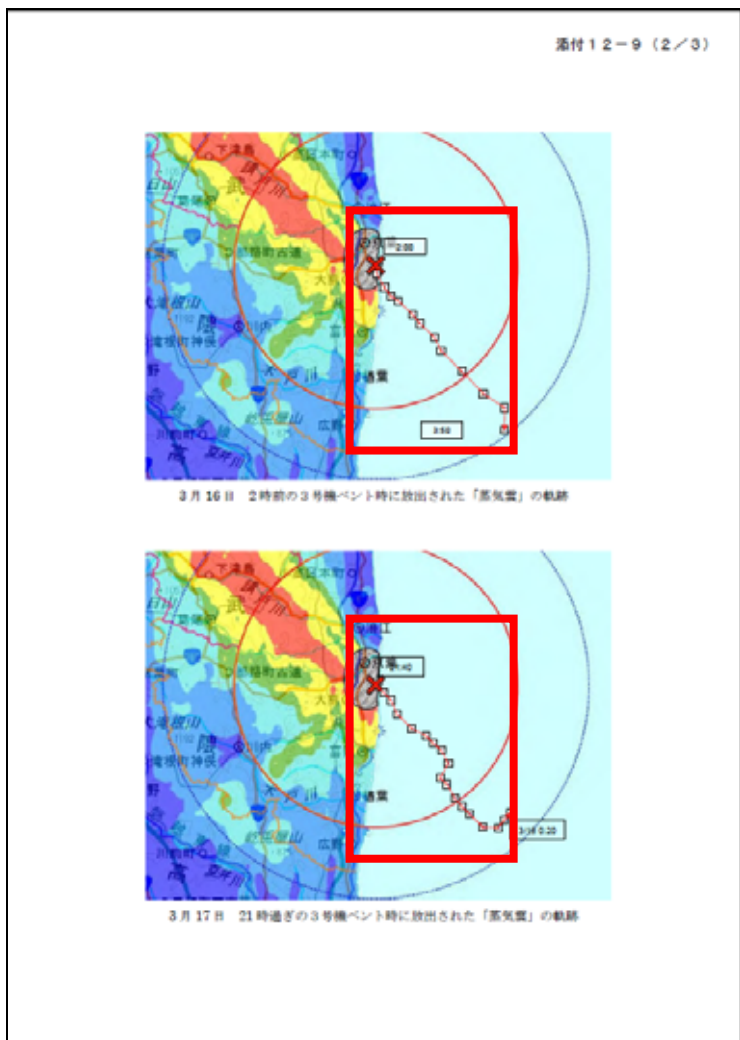
訂正後



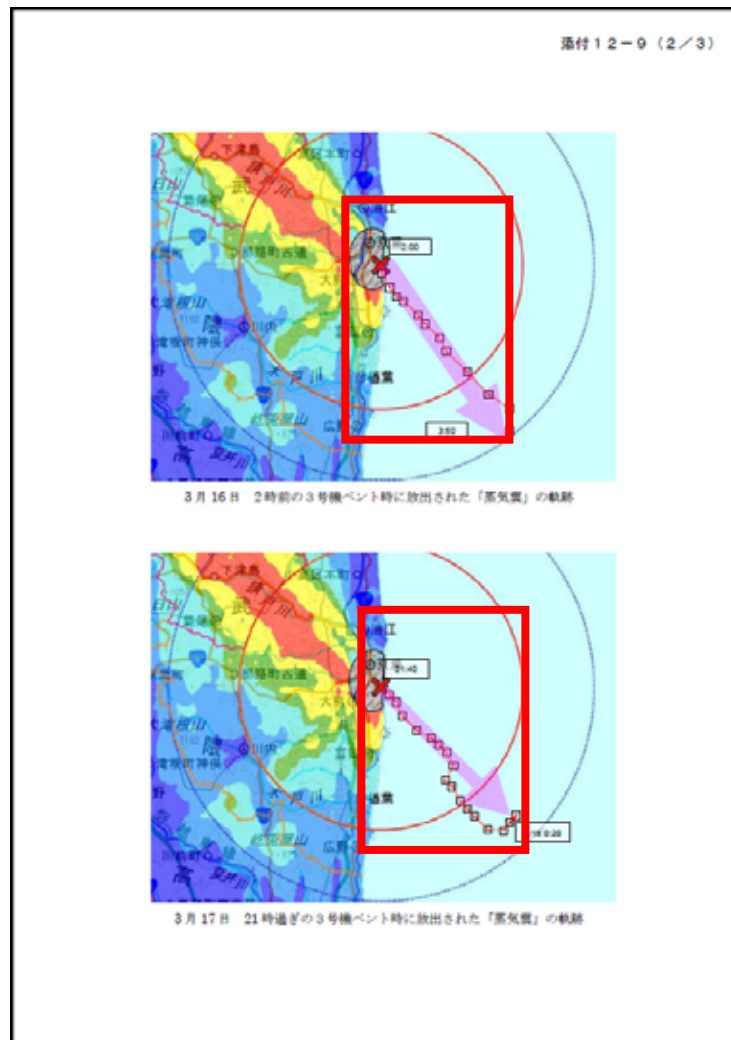
【訂正内容】

蒸気雲移動経路を示す赤い矢印（半透明）が欠落していたため訂正

訂正前



訂正後

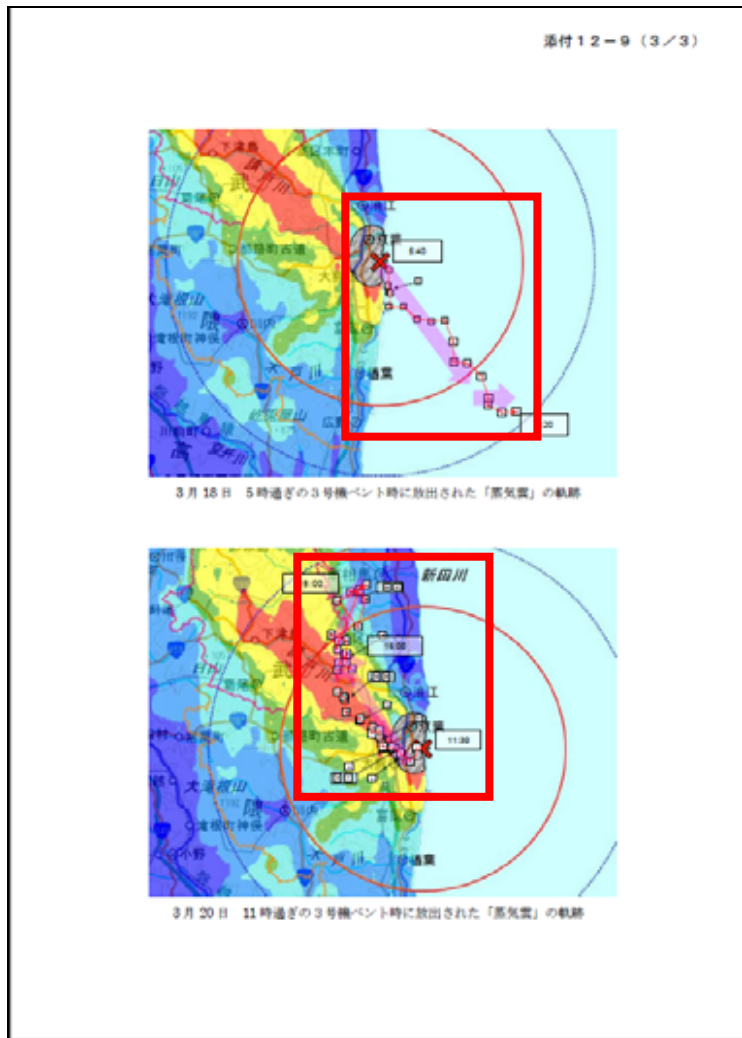
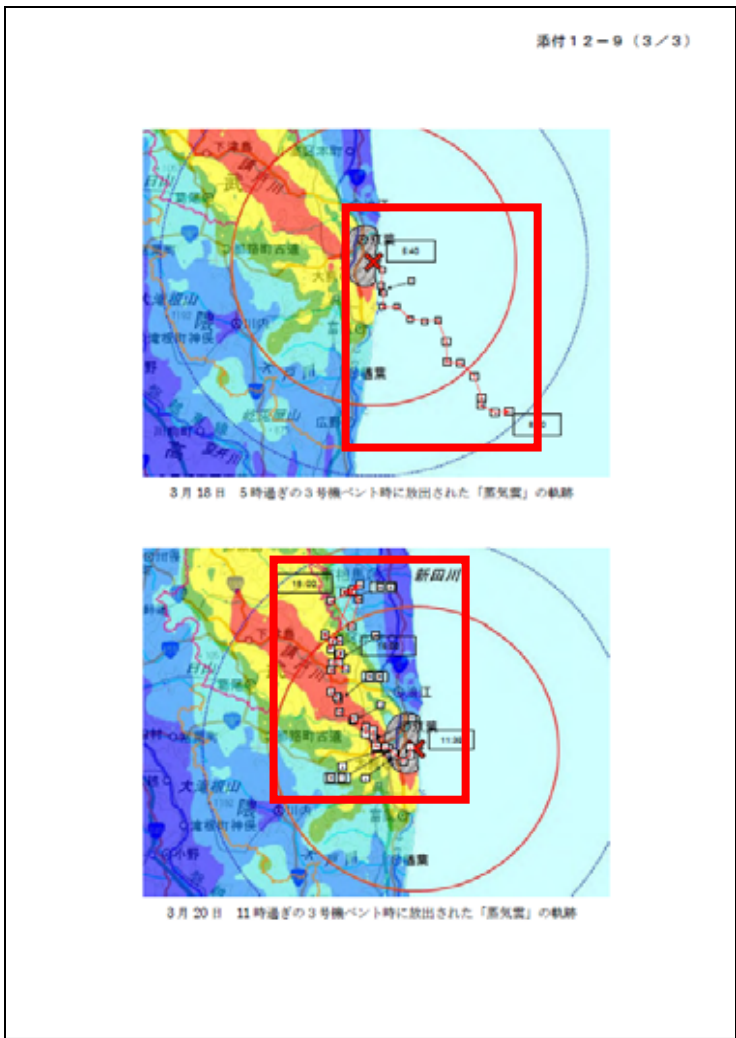


【訂正内容】

蒸気雲移動経路を示す赤い矢印（半透明）が欠落していたため訂正

訂正前

訂正後



【訂正内容】

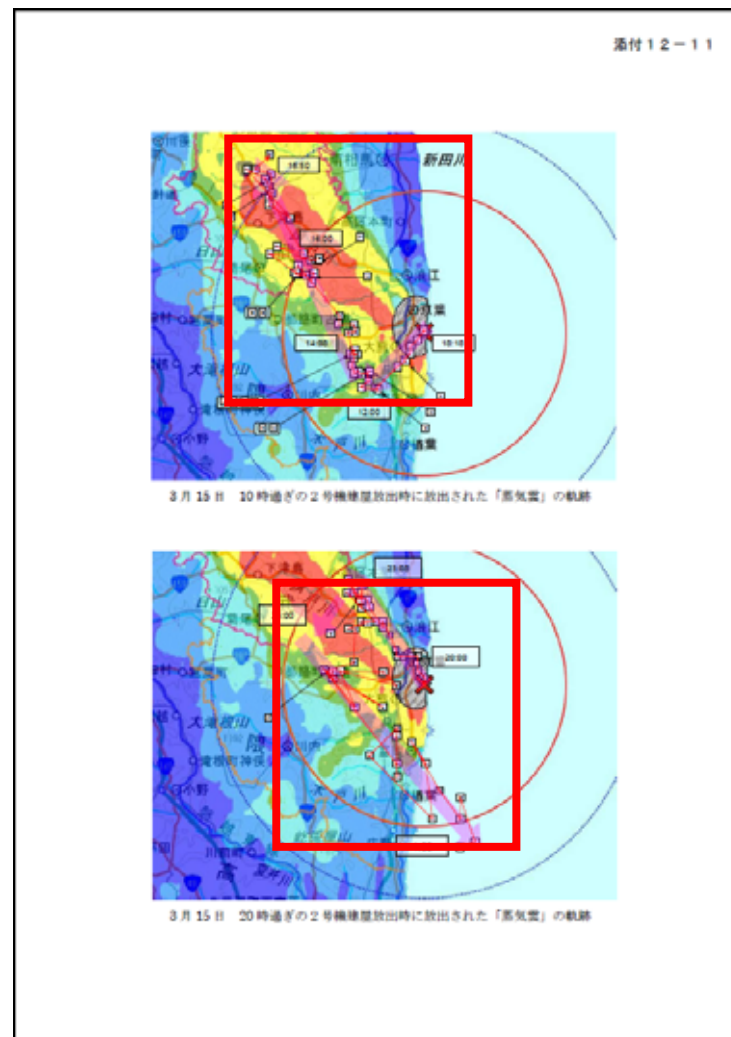
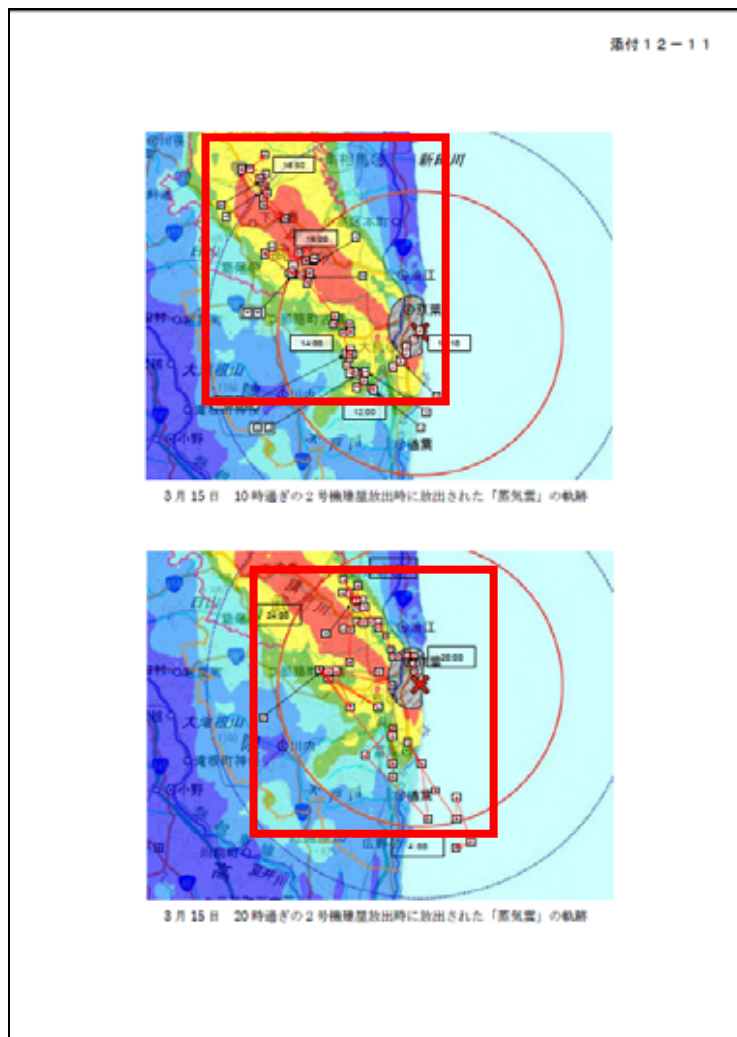
蒸気雲移動経路を示す赤い矢印（半透明）が欠落していたため訂正



訂正箇所：添付12-11

訂正前

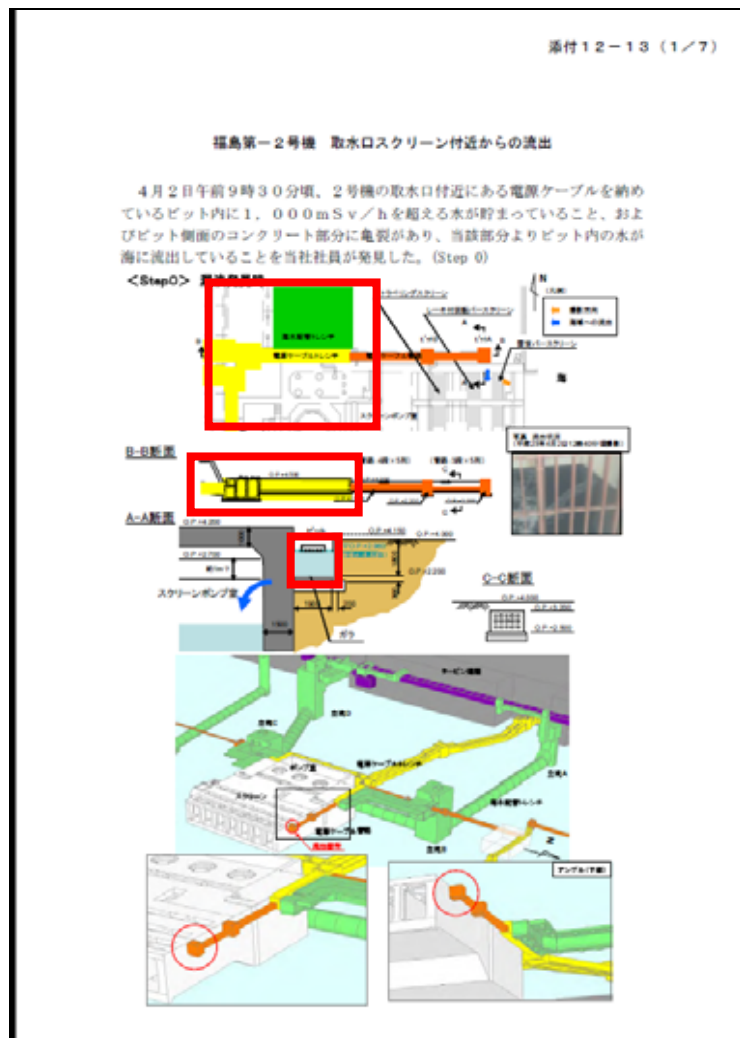
訂正後



【訂正内容】

蒸気雲移動経路を示す赤い矢印（半透明）が欠落していたため訂正

訂正前



訂正後



【訂正内容】

海水配管トレンチ（緑）と電源ケーブルトレンチ（黄）の形状が変形していたため訂正、ピットの中が水色で塗りつぶされていたため訂正

訂正前

訂正後

添付12-13 (2/7)

漏水発見後、直ちに、止水方法の検討を開始し以下の対応を実施した。

- 4月2日14時52分、生コン車が発電所に着着し、16時25分から上流(山)側のピットへコンクリートの流し込みを開始(～16時50分頃)、19時02分から下流(海)側のピットへコンクリートの流し込みを開始(～19時13分)、ピットの上面近くまでコンクリートが打ち終わったため作業を中止したが、コンクリートの流し込みは止水に効果がなかった。(Step 1)

<Step1> **止水方法の検討後**

- 4月3日12時07分、トレンチ内におがくずや高分子ポリマーを投入して水の流れを止めるため、トレンチダクト天板の破損を開始し、12時22分完了、13時47分おがくず5体投入。その後、ポリマー80袋、おがくず5体投入。14時05分新開投入「10体(1体3kg)3袋」、14時30分おがくず追加投入。警備付きポケット秤量計(APD)鳴動により退避。おがくずが乾燥状態にあり、注水・攪拌するため、17時42分ミキサー車からピット開口部に注水、17時52分完了するも効果なし。(Step 2)

添付12-13 (2/7)

漏水発見後、直ちに、止水方法の検討を開始し以下の対応を実施した。

- 4月2日14時52分、生コン車が発電所に着着し、16時25分から上流(山)側のピットへコンクリートの流し込みを開始(～16時50分頃)、19時02分から下流(海)側のピットへコンクリートの流し込みを開始(～19時13分)、ピットの上面近くまでコンクリートが打ち終わったため作業を中止したが、コンクリートの流し込みは止水に効果がなかった。(Step 1)

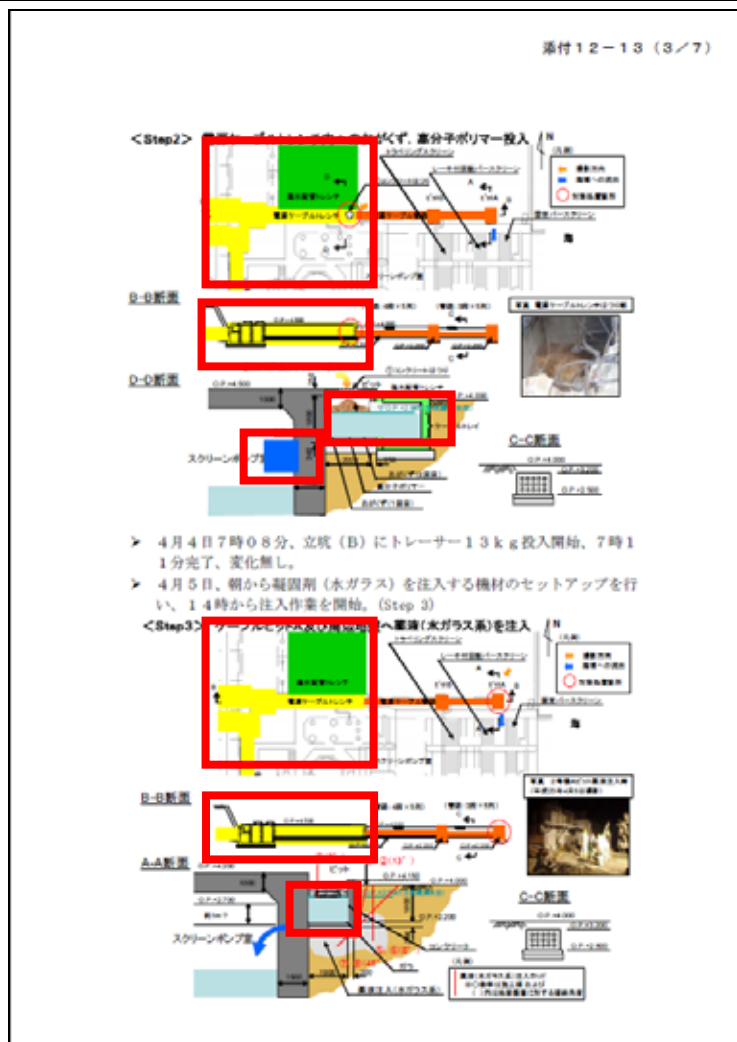
<Step1> **止水方法の検討後**

- 4月3日12時07分、トレンチ内におがくずや高分子ポリマーを投入して水の流れを止めるため、トレンチダクト天板の破損を開始し、12時22分完了、13時47分おがくず5体投入。その後、ポリマー80袋、おがくず5体投入。14時05分新開投入「10体(1体3kg)3袋」、14時30分おがくず追加投入。警備付きポケット秤量計(APD)鳴動により退避。おがくずが乾燥状態にあり、注水・攪拌するため、17時42分ミキサー車からピット開口部に注水、17時52分完了するも効果なし。(Step 2)

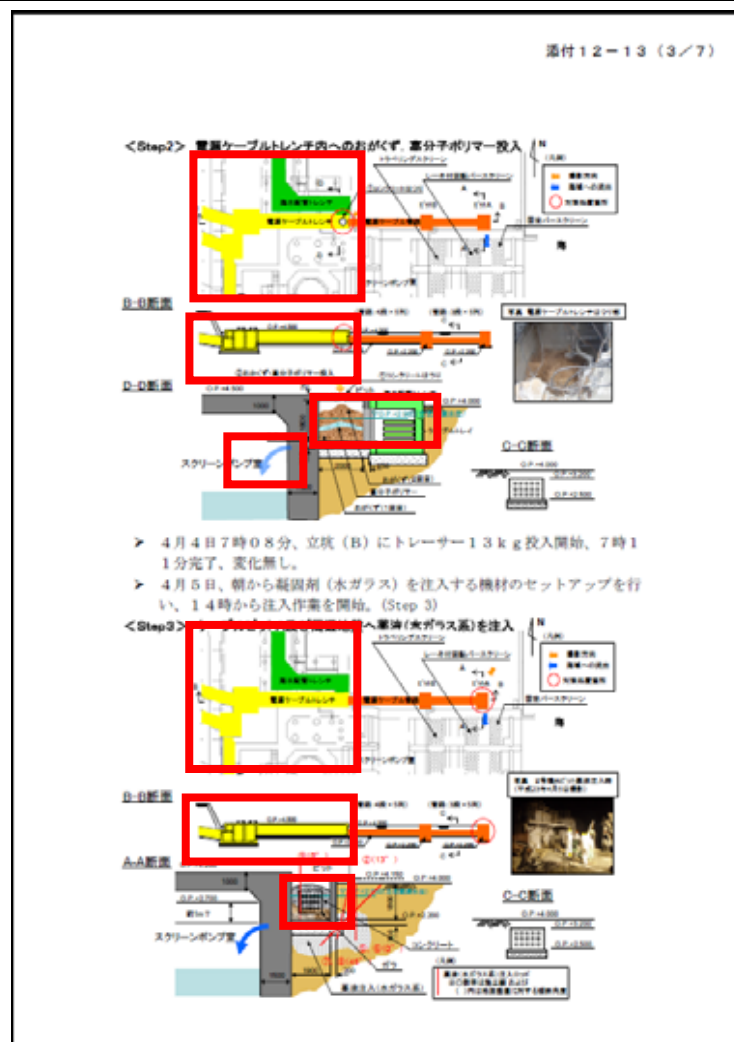
【訂正内容】

海水配管トレンチ（緑）と電源ケーブルトレンチ（黄）の形状が変形していたため訂正、ピットの中が水色で塗りつぶされていたため訂正

訂正前



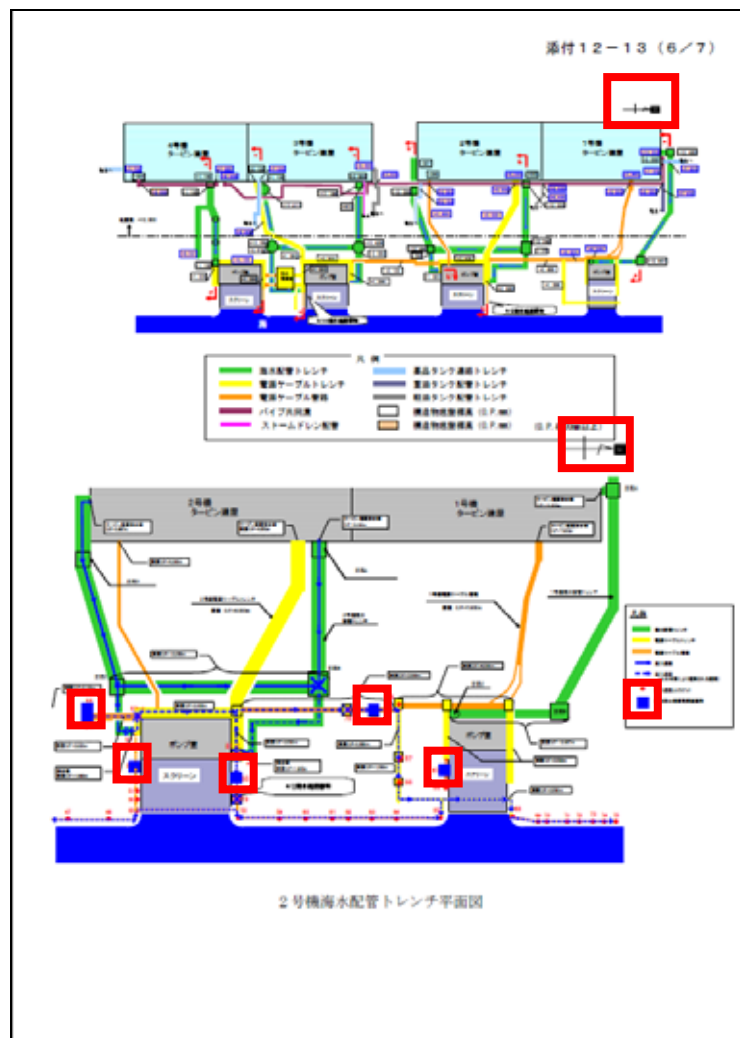
訂正後



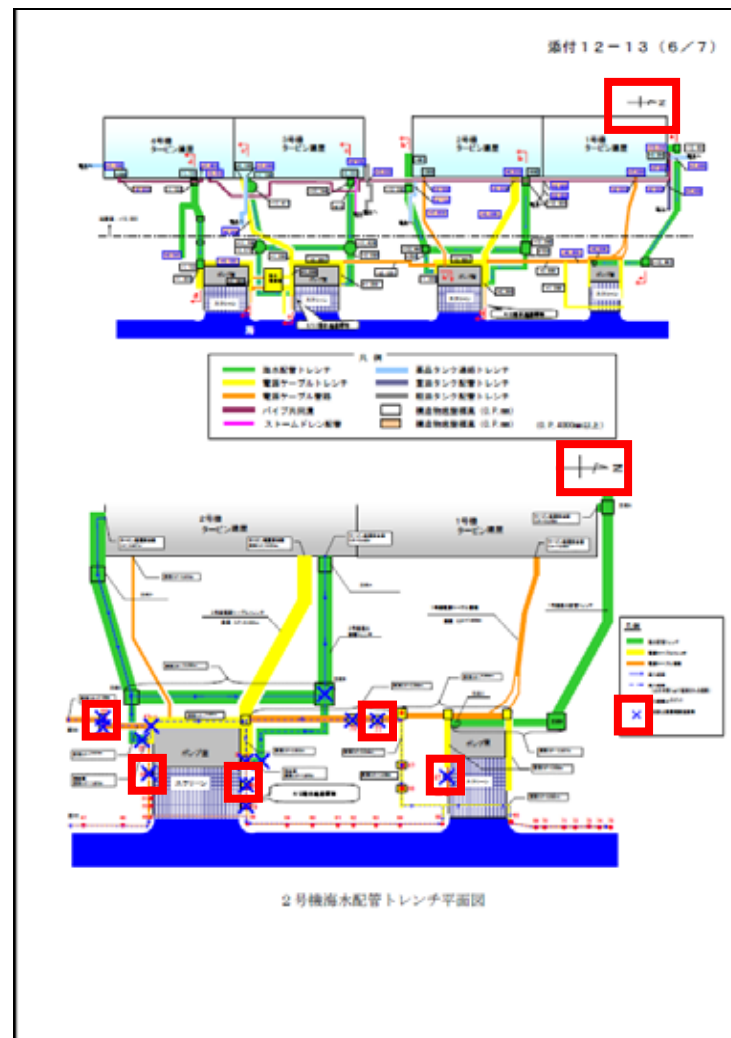
【訂正内容】

海水配管トレンチ（緑）と電源ケーブルトレンチ（黄）の形状が変形していたため訂正、ピットの中が水色で塗りつぶされていたため訂正、ピットから流出する水の矢印を訂正

訂正前



訂正後

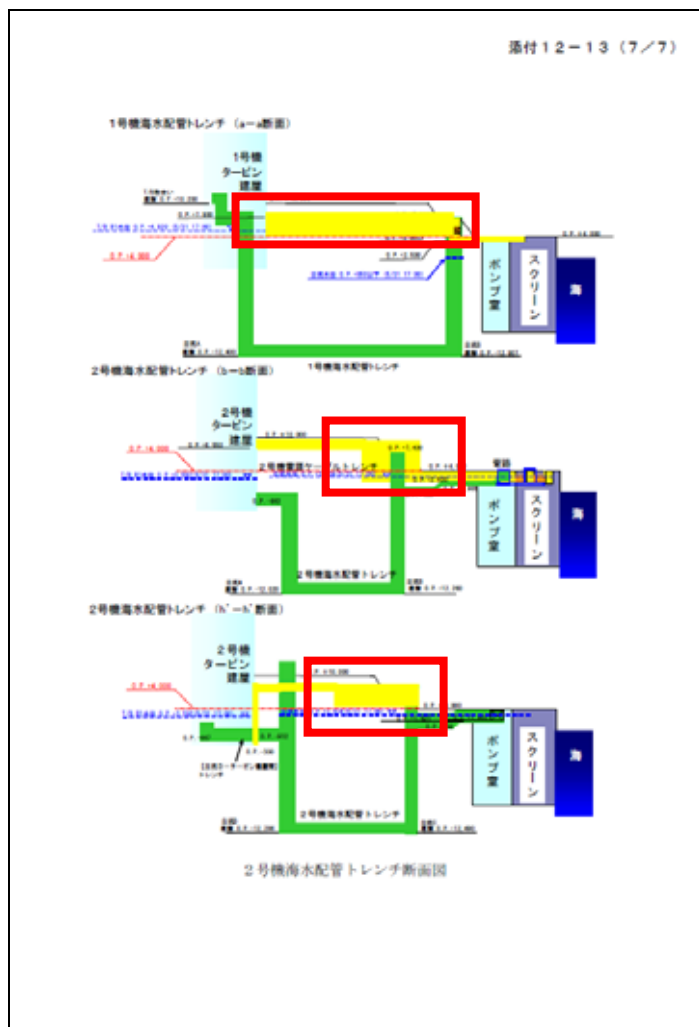


【訂正内容】

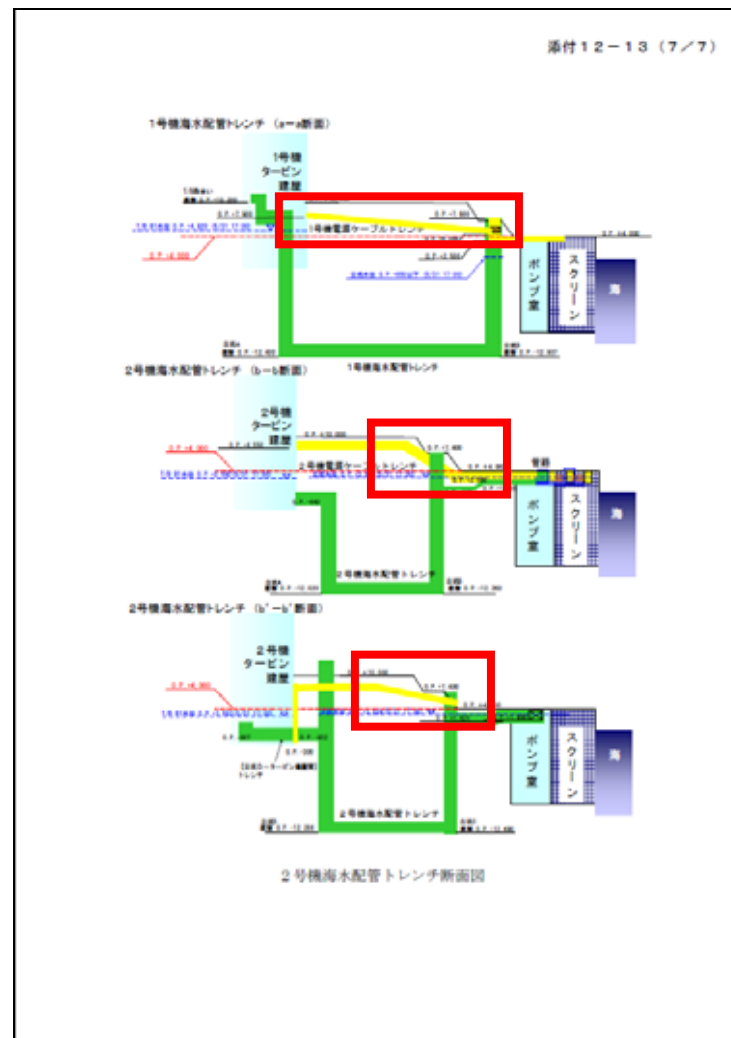
図右上の方角を示すNが黒■になっていたため訂正、流出防止措置既実施箇所を示す×が■になっていたため訂正

訂正箇所：添付12-13 (7/7)

訂正前



訂正後



【訂正内容】

電源ケーブルトレンチ（黄）の形状が変形していたため訂正

訂正前

訂正後

添付12-14 (7/13)

▶ 4月3日には、6号機高圧炉心スプレイス(HPCS)ディーゼル発電機室に隣接するトレンチの壁貫通部から、鉛筆1本程度の水が床に漏えいしていることが確認された。当時の評価上、5日間程度でトレンチ室入口にある壁(約28cm)を超えてしまうと予測しており、ディーゼル発電機への影響が懸念された。

拡大図-2 6号機地下エリアの滞留水の状況

▶ このように、6号機の安全上重要な設備を設置している部屋への水の漏えいが顕著に見られるようになった。4月上旬になってもなお余震が続いており、余震に伴う壁の損傷(ひび割れ)の拡大や大雨の影響等により、急激に漏えい量が増加すれば、除熱・冷却機能を喪失し、M/C(6C)から除熱設備への電源融通を受けている5号機も1~3号機と同様の事態になりかねないとの危機感、切迫感を持っていた。

▶ そこで、4月4日、6号機建屋に流入する地下水に関するリスクをできる限り迅速に低減し、先が見えない中で安全側に対応するためには、建屋への地下水流入の根本的な原因である建屋周囲のサブドレンの水位を下げる必要があったことから、既設のポンプを用いてサブドレン水を海洋へ放出することとした。

添付12-14 (7/13)

▶ 4月3日には、6号機高圧炉心スプレイス(HPCS)ディーゼル発電機室に隣接するトレンチの壁貫通部から、鉛筆1本程度の水が床に漏えいしていることが確認された。当時の評価上、5日間程度でトレンチ室入口にある壁(約28cm)を超えてしまうと予測しており、ディーゼル発電機への影響が懸念された。

拡大図-2 6号機地下エリアの滞留水の状況

▶ このように、6号機の安全上重要な設備を設置している部屋への水の漏えいが顕著に見られるようになった。4月上旬になってもなお余震が続いており、余震に伴う壁の損傷(ひび割れ)の拡大や大雨の影響等により、急激に漏えい量が増加すれば、除熱・冷却機能を喪失し、M/C(6C)から除熱設備への電源融通を受けている5号機も1~3号機と同様の事態になりかねないとの危機感、切迫感を持っていた。

▶ そこで、4月4日、6号機建屋に流入する地下水に関するリスクをできる限り迅速に低減し、先が見えない中で安全側に対応するためには、建屋への地下水流入の根本的な原因である建屋周囲のサブドレンの水位を下げる必要があったことから、既設のポンプを用いてサブドレン水を海洋へ放出することとした。

【訂正内容】

原子炉建屋のほぼ全域が水色で塗りつぶされていたため訂正

訂正前

添付12-15 (1/5)

**福島第一3号機 取水口スクリーン付近からの流出**

平成23年5月11日午前10時30分頃、3号機の取水口付近において立坑の閉塞作業に従事していた作業員が、ビットへの流水の音聞き、ビットの蓋を開放しその状況を把握したが、その時点ではまだ、スクリーンエリアへの流出は認識していなかった。

その後、現場の再確認の際、スクリーン室のカバーハッチを開放し内部をCCDカメラで確認した結果、同日午後4時5分頃、ビットからスクリーンエリアに水が流出していることを確認した。

流出水は高濃度の放射性物質を含んでいることから3号機タービン建屋（T/B）側から海水配管トレンチを経由し電源ケーブルトレンチ取合部から電線管を通じてT/B海側にある電源ケーブルビットに流出した排水が、当該ビットの北側にある電源ケーブルビットとスクリーンポンプ室間のコンクリート壁に生じた貫通部から3号機取水口のスクリーンエリアに流出したものと考えられる。

当該ビットからスクリーンエリアへの流出を確認後、直ちにビット内の電線管のケーブルを切断しウェスを詰め、ビット内をコンクリートで閉塞した結果、5月11日午後6時45分に流水が停止したことをCCDカメラで確認した。

**図説**

- 撮影方向
- 漏水への流出
- 対策実施箇所

**A-A断面**

撮影日時：平成23年5月11日 10時30分頃  
写真：電源ケーブルビットからの流出

撮影日時：平成23年5月11日 10時30分頃  
写真：電源ケーブルビットからの流出

撮影日時：平成23年5月11日 10時30分頃  
写真：電源ケーブルビットからの流出

撮影日時：平成23年5月11日 10時30分頃  
写真：電源ケーブルビットからの流出

訂正後

添付12-15 (1/5)

**福島第一3号機 取水口スクリーン付近からの流出**

平成23年5月11日午前10時30分頃、3号機の取水口付近において立坑の閉塞作業に従事していた作業員が、ビットへの流水の音聞き、ビットの蓋を開放しその状況を把握したが、その時点ではまだ、スクリーンエリアへの流出は認識していなかった。

その後、現場の再確認の際、スクリーン室のカバーハッチを開放し内部をCCDカメラで確認した結果、同日午後4時5分頃、ビットからスクリーンエリアに水が流出していることを確認した。

流出水は高濃度の放射性物質を含んでいることから3号機タービン建屋（T/B）側から海水配管トレンチを経由し電源ケーブルトレンチ取合部から電線管を通じてT/B海側にある電源ケーブルビットに流出した排水が、当該ビットの北側にある電源ケーブルビットとスクリーンポンプ室間のコンクリート壁に生じた貫通部から3号機取水口のスクリーンエリアに流出したものと考えられる。

当該ビットからスクリーンエリアへの流出を確認後、直ちにビット内の電線管のケーブルを切断しウェスを詰め、ビット内をコンクリートで閉塞した結果、5月11日午後6時45分に流水が停止したことをCCDカメラで確認した。

**図説**

- 撮影方向
- 漏水への流出
- 対策実施箇所

**A-A断面**

撮影日時：平成23年5月11日 10時30分頃  
写真：電源ケーブルビットからの流出

撮影日時：平成23年5月11日 10時30分頃  
写真：電源ケーブルビットからの流出

撮影日時：平成23年5月11日 10時30分頃  
写真：電源ケーブルビットからの流出

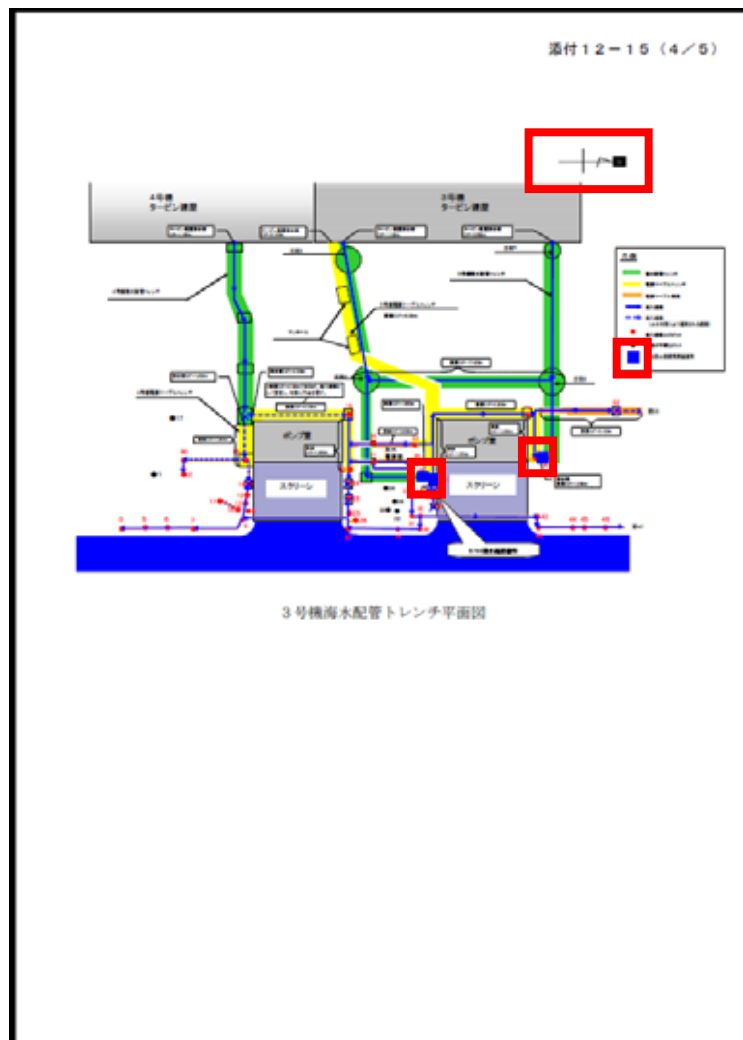
撮影日時：平成23年5月11日 10時30分頃  
写真：電源ケーブルビットからの流出

【訂正内容】

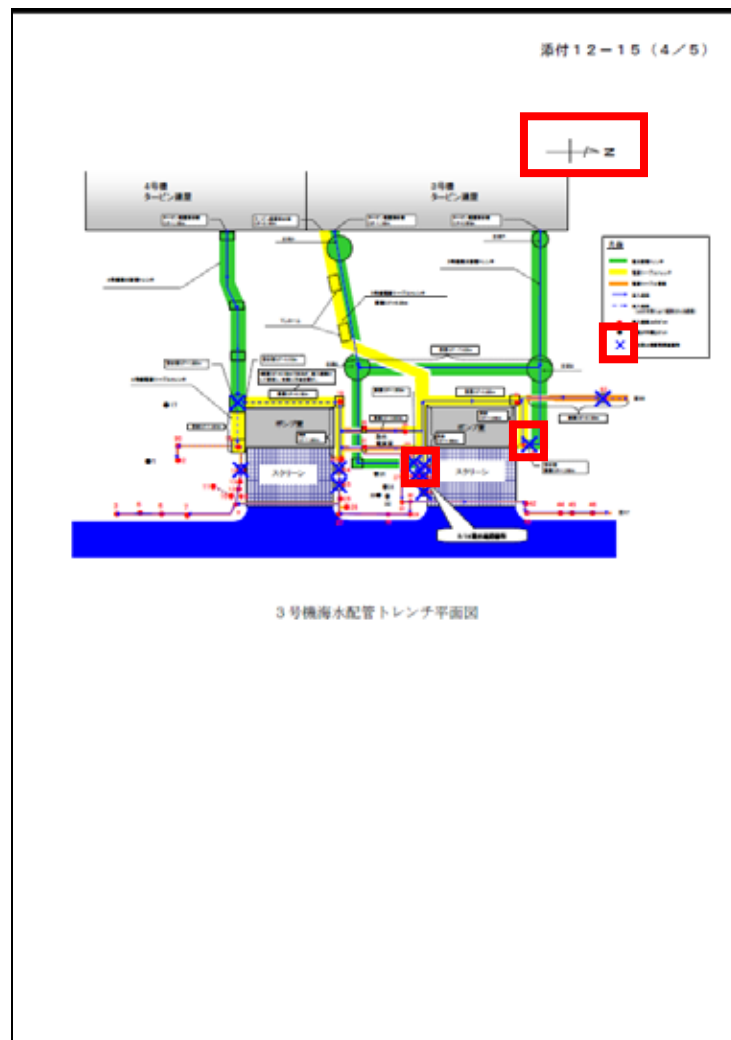
海水配管トレンチ（緑）と電源ケーブルトレンチ（黄）の形状が変形していたため訂正



訂正前



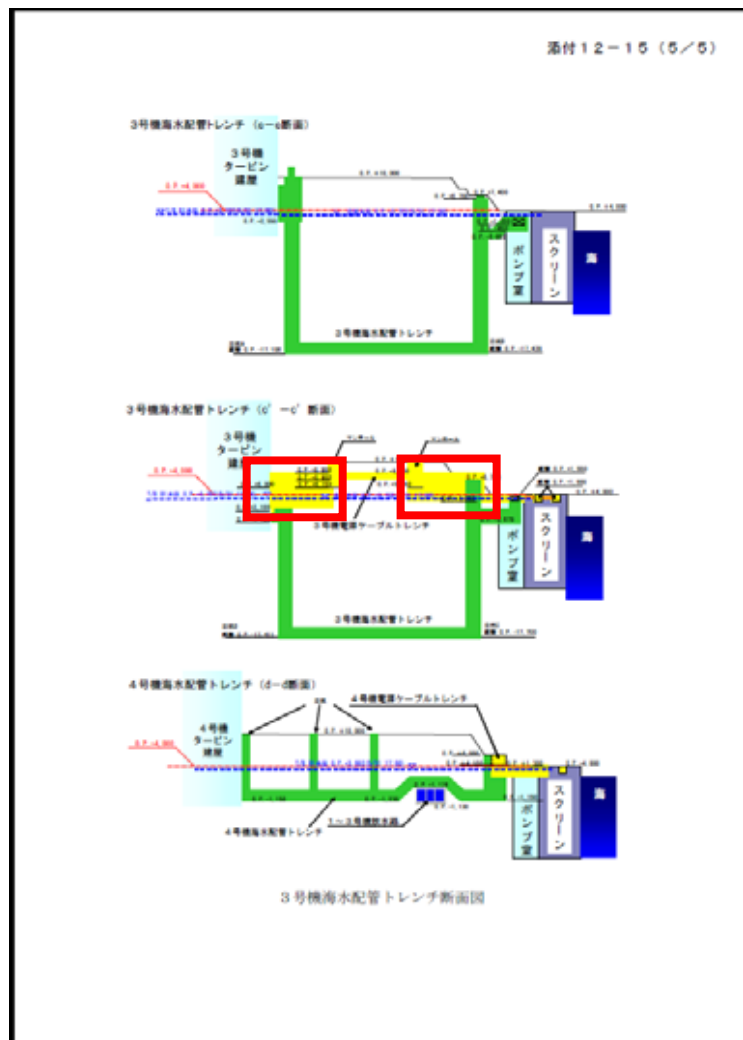
訂正後



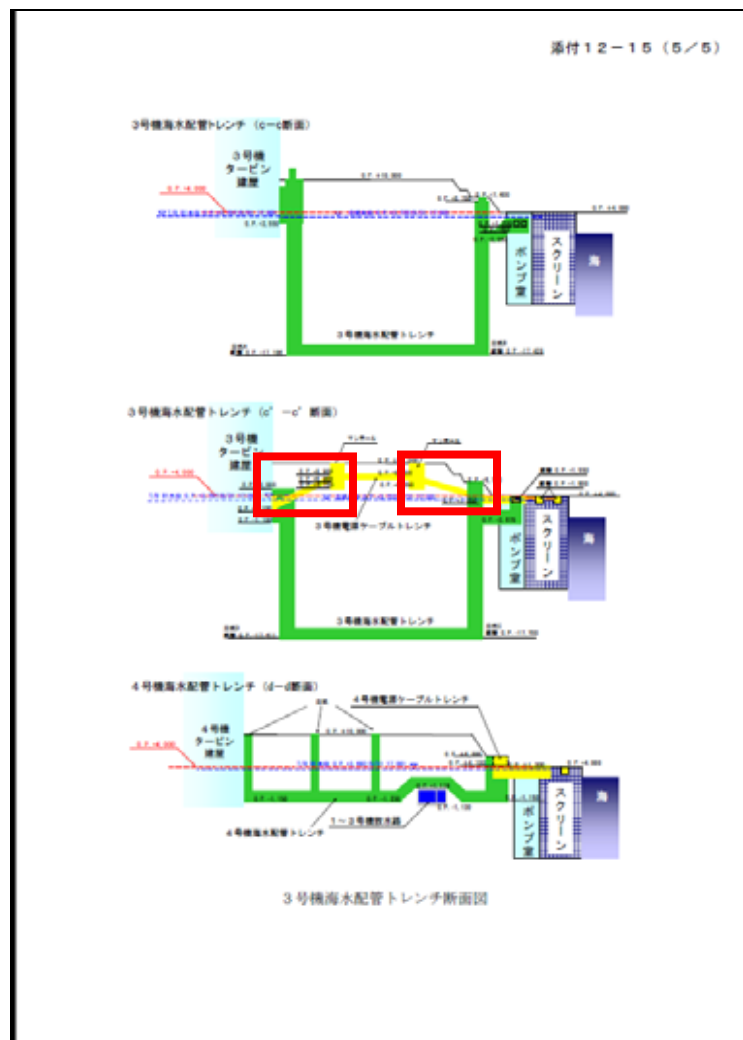
【訂正内容】

図右上の方位を示すNが黒■になっていたため訂正、流出防止措置既実施箇所を示す×が■になっていたため訂正

訂正前



訂正後

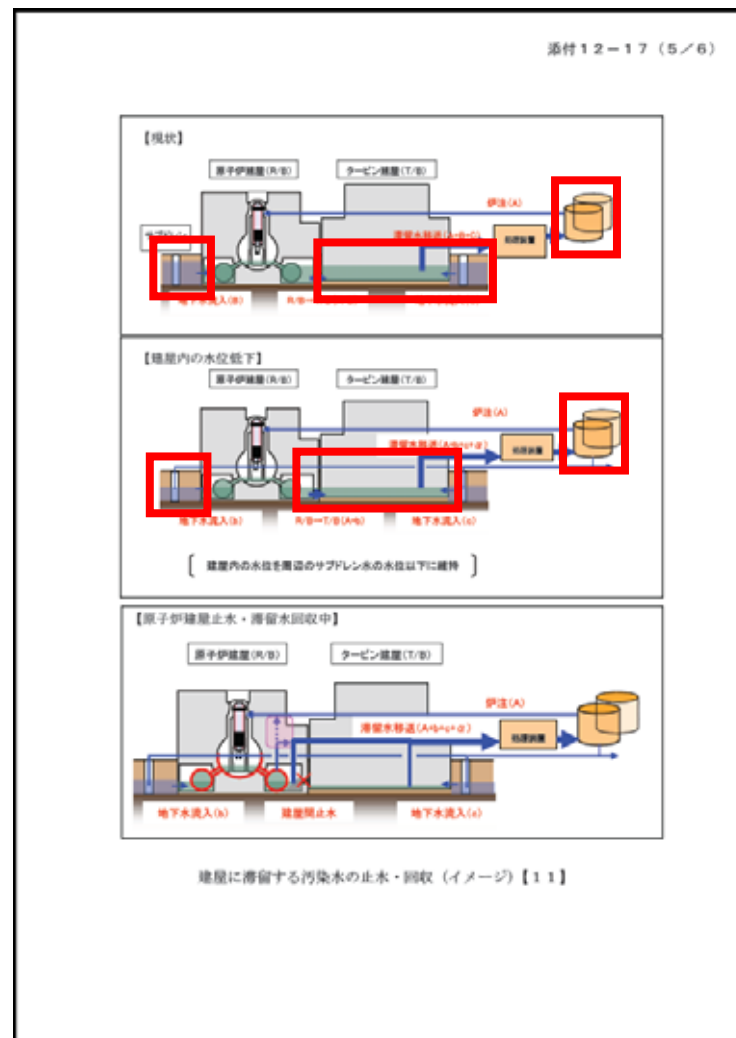
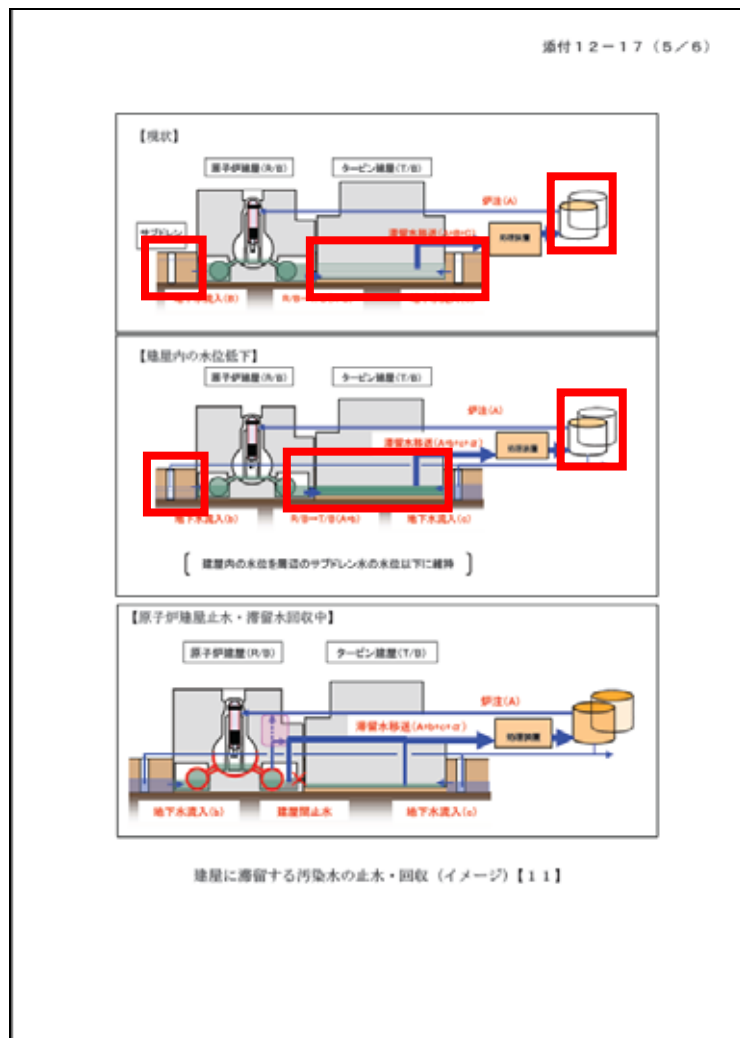


【訂正内容】

電源ケーブルトレンチ（黄）の形状が変形していたため訂正

訂正前

訂正後



【訂正内容】

サブドレン水やタービン建屋滞留水が消えたり不明瞭になっていたため訂正、タンクの色が消えていたため訂正